

2017年度
会津大学短期大学部研究シーズ集



JUNIOR COLLEGE OF AIZU

公立大学法人
会津大学短期大学部 地域活性化センター

「会津大学短期大学部研究シーズ集」更新にあたって

本学は、平成18年4月に公立大学法人となり、教育・研究に加えて地域貢献を積極的に行ってきました。平成19年4月に開設された会津大学短期大学部地域活性化センターは、福島県の地域資源を活かした地域活性化を目指して、地域連携機関（産官民学）との協働・連携事業の実施を中心に、これまで様々な活動・研究を重ねてまいりました。

本学には、産業情報学科（経営情報コース、デザイン情報コース）、食物栄養学科に加え、昨年度新たに幼児教育学科が創設され、産業、経営、デザイン、建築、情報、環境、栄養、食品、健康、幼児教育、福祉及び保育等、くらしに密着した幅広い特色ある専門領域群があります。

地域社会が抱える問題や課題を具体的に掘り起こし、本学が保有する多様なくらしに密着した専門領域を有効に活用しながら、大学と地域社会が協働・連携して課題の解決に取り組むことにより、活力ある地域社会を創造することが本センターの目的です。

日本社会は、国際化、情報化、高齢化、少子化等により大きな転換期を迎えています。

現在では国内総生産額で中国に追い抜かれ世界第三位の経済国となりました。これからの日本は成熟した経済大国として、量よりも質の向上を巡るグローバル競争に重点を移す時代に入ったといえます。一方では地方の時代を迎えて、地域の特質、例えば、文化、伝統、歴史、風土、地域産品などの地域固有の資源を活かした活性化を目指すローカリゼーションの考え方が重要視されています。共に助け合い、共に潤い、共に活性化することを目指す地域共生型のアジア的な発展モデルです。具体的な活動としては、産官民学が有機的に協働・連携して、地域資源を活用して、より大きな付加価値を生み出すことができ、国際的にも通用する地域の独自性を形成することが重要です。同時に、地域情報発信型の社会にする必要があります。大切なことは産官民学が連携を図りプロジェクトを有機的に立ち上げて協力し合うことから、新たな発展の萌芽が育まれます。若い学生達のユニークな発想やアイデアも活用しながら、異分野の方々が連携し協力し合うことにより、多様なシーズとニーズを融合した新しい価値観、地域文化、地域社会、地域産業が創造できるものと考えます。

2017年4月1日

地域活性化センター長 井波 純

共同研究、受託研究、奨学寄附金及び技術相談等のお問い合わせについて

会津大学短期大学部との共同研究、委託研究、奨学寄附金、技術相談等につきましては、本研究シーズ集をご覧ください、地域活性化センターにお問い合わせください。

本研究シーズ集に記載のない分野についても応じられる場合がございますのでお気軽にお問い合わせください。

※ 会津大学短期大学部の研究シーズ

研究シーズとは科学技術研究の種(Seeds)、つまり将来花咲き実を結ぶ可能性の高い研究をさします。会津大学短期大学部では、産業情報(経営情報・デザイン情報)、食物栄養、幼児教育などの分野においてさまざまな研究を推進しており、そこで生まれた研究成果をわかりやすくまとめ、本学の「知」を産業界や地域・社会に還元するという目的から「研究シーズ集」として公開しております。

お問い合わせ先

公立大学法人会津大学

会津大学短期大学部地域活性化センター

〒965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1

Tel : 0242-37-2300

Fax : 0242-37-2412

URL : <http://www.jc.u-aizu.ac.jp/>

E-mail: chiiki@jc.u-aizu.ac.jp

目 次

1 産業情報学科

(1) 経営情報コース

石光 真 (イシミツ マコト)	教授	1
平澤 賢一 (ヒラサワ ケンイチ)	教授	3
中澤 真 (ナカザワ マコト)	准教授	5
大橋 良生 (オオハシ ヨシタカ)	准教授	7
青木 孝弘 (アオキ タカヒロ)	講師	9
八木橋 彰 (ヤギハシ アキラ)	講師	11

(2) デザイン情報コース

時野谷 茂 (トキノヤ シゲル)	教授	13
井波 純 (イナミ ジュン)	教授	15
柴崎 恭秀 (シバサキ ヤスヒデ)	教授	17
高橋 延昌 (タカハシ ノブマサ)	准教授	19
横尾 誠 (ヨコオ マコト)	准教授	21
北本 雅久 (キタモト ガク)	講師	22

2 食物栄養学科

田中 政巳 (タナカ マサミ)	教授	23
齋藤 文也 (サイトウ フミヤ)	教授	25
左 一八 (ヒダリ カズヤ)	教授	27
宮下 朋子 (ミヤシタ トモコ)	准教授	29
鈴木 秀子 (スズキ ヒデコ)	准教授	31
加藤 亮 (カトウ マコト)	講師	33
小林 未希 (コバヤシ ミキ)	講師	34
阿部 桂子 (アベ ケイコ)	助手	35
水尾 和雅 (ミズオ カズマサ)	助手	36

3 幼児教育学科

市川 和彦 (イチカワ カズヒコ)	教授	37
渡辺 一弘 (ワタナベ カズヒロ)	教授	39
郭 小蘭 (カク ショウラン)	教授	41
河原田 潤 (カワラダ ジュン)	教授	43
久保美由紀 (クボ ミユキ)	准教授	45
木村 淳也 (キムラ ジュンヤ)	講師	47
鈴木 勲 (スズキ イサオ)	講師	49
渡部 琢也 (ワタナベ タクヤ)	講師	51
葉山 亮三 (ハヤマ リョウゾウ)	講師	53
櫻井 直輝 (サクライ ナオキ)	講師	54
五十嵐啓太 (イカラシ ケイタ)	講師	56

キーワード索引

学科・コース名	教員名	キーワード	ページ
1 産業情報学科			
(1) 経営情報コース			
	石 光 真	放射線教育、エネルギー問題、受験勉強、行財政審議	1
	平 澤 賢 一	外資系企業・人事部・HRM・ダイバーシティマネジメント	3
	中 澤 真	ICT教育、eラーニング、地域情報化、Webビジネス、データ分析、データマイニング	5
	大 橋 良 生	会計処理、簿記、会計情報	7
	青 木 孝 弘	ソーシャルビジネス、業績評価、起業、観光ビジネス	9
	八木橋 彰	マルチチャネル・ショッピング、インターネットショッピング、小売マーケティング、買物弱者問題、まちづくり	11
(2) デザイン情報コース			
	時野谷 茂	景観、製品開発	13
	井 波 純	漆、轆轤、工芸美術、木地	15
	柴 崎 恭 秀	建築計画、建築設計、アート計画、地域計画、まちづくり	17
	高 橋 延 昌	PRデザイン、基礎造形、色彩、錯視、ロゴマーク、パッケージ、マスコット	19
	横 尾 誠	ウェブ、画面、インタフェース、インタラクション、エクスペリエンス	21
	北 本 雅 久	グラフィックデザイン、ポスター、フライヤー、パンフレット、展示企画、ワークショップ	22
2 食物栄養学科			
	田 中 政 巳	内分泌、エストロゲン、薬物代謝、血栓	23
	齋 藤 文 也	カロテノイド、不飽和脂肪酸、畜産食品、鶏卵	25
	左 一 八	糖質、糖鎖、シアル酸、ウイルス感染、機能性食品、地域伝統食材	27
	宮 下 朋 子	嚥下困難者用食品、自然薯、気泡含有食品	29
	鈴 木 秀 子	食をとおした子育て・子育て、食育推進計画、食育プログラム、食をとおした健康づくり・地区組織育成	31
	加 藤 亮	栄養指導、栄養教育、栄養教育ツール、予防、身体活動量	33
	小 林 未 希	栄養指導、料理教室	34
	阿 部 桂 子	離乳食、親子料理教室	35
	水 尾 和 雅	卵、乳化性、料理教室	36
2 幼児教育学科			
	市 川 和 彦	施設内虐待、行動障害、怒り、障がい児、障がい者、触れる関わり	37
	渡 辺 一 弘	地域、保育施設の歴史、学歴、学校文化(校風)、男女共同参画社会	39
	郭 小 蘭	子どもに対する接し方	41
	河原田 潤	音楽、音楽理論、合奏	43
	久 保 美由紀	高齢者の生活支援、福祉計画、地域ケア、コミュニティ・ソーシャルワーク	45
	木 村 淳 也	援助関係、ソーシャルワーク・スーパービジョン、連携、協働	47
	鈴 木 勲	社会的養護、子ども虐待、一時保護所	49
	渡 部 琢 也	体力、体格・運動能力、幼児、児童、高齢者、競技スポーツ、発育発達	51
	葉 山 亮 三	造形教育、ワークショップ	53
	櫻 井 直 輝	教育行政、教育財政、教育委員会、学校統廃合、国際学力調査	54
	五十嵐 啓 太	英語、文法、言語獲得	56

産業情報学科 教授 経済学修士

イシ ミツ マコト
石光 真

○所属学会・協会 / 日本財政学会、公益事業学会、東北経済学会

●専門分野とこれまでの研究

専門分野: 財政学

これまでの研究

- ① 西ドイツの鉄道民営化
- ② 西ドイツの債券利子課税
- ③ 西ドイツの経済安定化政策
- ④ ドイツの公債管理政策
- ⑤ 少子高齢化とその対策の国際比較
- ⑥ 反市場主義と賦課方式

●現在の研究テーマおよび概要

- ① ドイツのエネルギー政策
- ② 日本のエネルギー政策
- ③ ドイツと日本の年金改革の課題と現状
- ④ 年金への税財源投入の日独比較

●相談に応じられる分野・キーワード

- ① 放射線教育(派遣講座リストのとおり)
- ② エネルギー問題(派遣講座リストのとおり)
- ③ その他(派遣講座リストのとおり)
- ④ 行財政に関する政策審議

キーワード: 放射線教育、エネルギー問題、受験勉強、行財政審議

●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)

[著書]

- ① 西ドイツの経済安定政策 馬場尚憲責任編集『現代の資本主義 構造と動態』御茶の水書房 330～342頁(第4章第2節b)

[論文]

- ① クーポン税と源泉税——西ドイツにおける債券利子課税の推移——証券経済研究所『証券研究』Vol.88
- ② ドイツ連邦鉄道の経営と民営化の可能性 東北大学経済学会 研究年報『経済学』Vol.52 No.4

③ ドイツの年金改革——賦課方式内の財源措置と積立方式への部分的移行 『会津大学短期大学部研究年報』第58号
④ 「日本における出生力低下と人口政策－歴史と経済理論」『東北経済学会誌』2003年度
⑤ 賦課方式年金と反市場主義『会津大学短期大学部研究年報』第62号
⑥ 年金改革の国際比較－日本は何を学べるか『会津大学短期大学部研究年報』第63号
⑦ ドイツ法定年金給付抑制のメカニズムと補完策『会津大学短期大学部研究年報』第67号
⑧ スライド率抑制装置の次の課題は何か？－ドイツ年金改革の諸論点－ 『会津大学短期大学部研究年報』第69号
⑨ ドイツにおける太陽光・風力発電拡大の系統安定性への影響 『会津大学短期大学部研究紀要』第73号(2016)
[社会的活動]
① 会津若松市下水道料金運営審議会会長(1996～7)(2000)(2003～4)
② 福島県大規模小売店舗審議会特別委員(1997～2000)
③ 会津坂下町公共事業評価委員会委員(2000～2006) 会津若松市文化施設指定管理者候補者選定委員会委員長(2005)
④ 会津地方環境パートナーシップ会議代表(2003～2008) 地球にやさしい“ふくしま”県民会議会津地方会議代表(2008～)
⑤ 会津若松市廃棄物処理運営審議会委員(2007) 会津若松市行政システム改革懇談会座長(2008)
⑥ 会津美里町公共事業評価委員会委員(2007) 喜多方市固定資産税税率統一検討委員会委員(2008)
⑦ 会津若松市文化施設指定管理者候補者選定委員会委員長(2009,2013)
⑧ 会津若松市行政機構審議会会長(2010)
⑨ 会津若松市生涯学習総合センター窓口業務プロポーザル審査会委員長(2010,2013)
⑩ 会津若松市廃棄物処理運営審議会会長(2010)
⑪ 会津若松市外部評価審議会(2011～2016)
⑫ 会津美里町協働のまちづくり推進事業審査委員(2012～)
⑬ 会津若松市商工審議会会長(2013～2014)
⑭ 会津若松市農村活性化プロジェクト補助対象事業審査会委員(2013)
⑮ 喜多方市工業振興ビジョン検討会議(2013～2014)
⑯ 喜多方市工場等立地促進審議会(2013～)
⑰ 西会津町総合計画検討会議アドバイザー(2014)
⑱ 会津美里町補助金等検討第三者委員会委員長(2014～2016)
⑲ 会津美里町総合計画審議会会長(2014～2016)
⑳ 会津若松市総合政策審議会会長(2015～2016)

産業情報学科 教授 博士(学術)

ヒラ サワ ケン イチ
平澤 賢一

○所属学会・協会 / 日本経営学会、日本労務学会、国際ビジネス研究学会、異文化経営学会、The Academy of International Business

●専門分野とこれまでの研究
専門分野 : 経営学(国際経営論)
これまでの研究
① 人材マネジメント(外資系企業のHRM、障害者雇用)
② 国際経営(外資系企業を事例として)
③ 上場企業IR部門の社外対応
④ 金融・証券教育
●現在の研究テーマおよび概要
① 現在の研究テーマ:『上場企業IR部門における社外対応活動』 上場企業2千余社のIR部門(「投資家向け広報」を担当)を対象とし、社外対応活動の実務とその効果を、実態調査により明らかにする
●相談に応じられる分野・キーワード
① 組織・人事制度改革
② 異文化経営
キーワード: 外資系企業・人事部・HRM・ダイバーシティマネジメント
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)
[著書]
① 「経営の財務」『経営学講義』(中央経済社)
② 「銀行の海外経営と公式化の意義」『経営の国際開発の関する研究』(多賀出版)
[論文]
① 「上場企業IR部門における社外対応活動 ー日経225構成銘柄企業の実態調査を中心としてー」(会津大学短期大学部研究紀要第74号) <大橋良生氏と共著>
② 「米系企業と欧州系企業の人事部比較」『日本労務学会第36回全国大会論集』
③ 「外資系企業人事部の役割と意思決定プロセス」『日本労務学会第34回全国大会論集』
④ 「外資系銀行人事部の役割」『経営学論集: 21世紀経営学の課題と展望』(日本経営学会編・千倉書房)
[社会的活動]
① 喜多方市行政改革推進委員会(2001-現在)
② 喜多方市環境審議会(2015-現在)

- | |
|---|
| ③ 福島県立若松商業高等学校学校評議員(2007-2013) |
| ④ 福島県立病院事業経営評価委員会委員(2007-2009) |
| ⑤ 65歳雇用導入プロジェクト事業継続雇用達成会議委員長(2005-2007) |

産業情報学科 准教授 修士(工学)

ナカ ザワ マコト
 中澤 真

○所属学会・協会 / 情報処理学会, IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.), ACM (Association for Computing Machinery)

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 知識情報処理, 情報理論, 計算量理論	
これまでの研究	
① 知識情報処理技術を応用した効率的なデータ圧縮法	
② 人工知能における, 漸近的計算限界の解明	
③ 地域情報データベースの構築	
●現在の研究テーマおよび概要	
① プログラミング教育を中心とした情報教育の学習履歴分析	
② 子ども向け・大学向け・企業向けのICTを活用した学習システムについて	
③ 統計的アプローチによるビッグデータ分析	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① e-Learningを活用した社内教育支援, ICTを活用した授業実践指導	
② ビッグデータ, スモールデータを活用した, マーケティングのためのデータマイニング手法	
③ 地域情報化・教育の情報化のための支援	
④ 初等教育向けプログラミング教育の実践	
キーワード: ICT教育、eラーニング、地域情報化、Webビジネス、データ分析、データマイニング	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[外部資金獲得状況]	
① 科学研究費補助金－基盤研究(C) 代表 「プログラミング学習時の小学生の思考プロセスの解析とこれに基づく教育支援システム」2017-2020	
② 科学研究費補助金－基盤研究(C) 代表 「コンテキストウェアネスを活用した学習者行動モデルと学習支援環境の開発と実証」2014-2018	
③ 科学研究費補助金－基盤研究(C) 「クラウドコンピューティング環境による次世代eラーニングスタイルに関する研究開発」2011-2014	
④ 科学研究費補助金－基盤研究(B) 「グローバル・リテラシー大学英語教育のモデル化と自動成果判定システムの開発」2013	
⑤ 科学研究費補助金－若手研究(B) 代表 「情報フィルタリング技術を用いた授業コミュニティ支援システムの構築」2006-2007	
[論文]	
① “Scratchを用いたプログラミング学習時の閲覧履歴・編集履歴・脳波履歴を組み合わせた学習者分析”, 情報処理学会 コンピュータと教育(CE), 2017-CE-138(1), pp.1-6, 2017.	
② “A Method based on Self-study Log Information for Improving Effectiveness of Classroom Component in Flipped Classroom Approach”, International Journal of Software Innovation, Volume 4, Issue 2, 2016.	

③ “Learning Styles for e-learning Systems over Virtual Desktop Infrastructure,” Proc. of the 2014 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, pp.3248-3253, 2014
④ “The Influence of QoS on e-Learning Environment under Virtual Desktop Infrastructure”, 5th International Conference on Communications, Computers and Applications, pp. 30-34, 2012.
⑤ “地方大学における遠隔講義の実践とその可能性について”, 会津大学短期大学部 研究紀要 第69号, 2012.
⑥ “仮想化デスクトップによるeラーニングシステムにおける通信品質が与える影響について”, 日本e-Learning学会, 2011年度学術講演会, 2011
⑦ “授業における円滑なコミュニケーション支援のためのLMSの活用について”, 会津大学短期大学部 研究年報 第66号, 2009
⑧ “遠隔講義における双方向コミュニケーションについての課題とその解決に向けて”, 会津大学短期大学部 研究年報 第63号, 2006.
⑨ “インターネットを用いた大学間連携による遠隔授業の開発と評価”, 武蔵工業大学 環境情報学部 情報メディアセンタージャーナル, 第7号, 2006.
[特許]
① 学習支援システム, 学習支援装置および学習支援方法 (出願番号:特願2017-017634)[申請]
② eラーニングシステム及びeラーニング用プログラム(出願番号:特願2015-073652)[申請]
[受賞]
① 第77回情報処理学会全国大会 大会優秀賞受賞 2015
② 第74回情報処理学会全国大会 大会優秀賞受賞 2012
[社会的活動]
① 早稲田大学理工学研究所 特別研究部会「次世代eラーニングに関する研究」メンバー
② 大熊町未来教育会議 委員
③ 第77回情報処理学会全国大会「次世代eラーニング研究シンポジウム ～新たなICT活用による学びの変革～」パネリスト
④ 電子情報通信学会 情報理論とその応用シンポジウム2014実行委員
⑤ 大熊町教育委員会ICT活用実証研究協議会委員長
⑥ 山形市立商業高校との高大連携事業 遠隔講義「Webビジネスの可能性」「やさしい暗号のはなし」など
⑦ 農業従事者向けネットショップ開業セミナー講師(喜多方市との共催, 全8回)

産業情報学科 准教授 博士(経営学)

オオ ハシ ヨシ タカ
大橋 良生

○所属学会・協会 / 日本会計研究学会, 日本監査研究学会, 日本管理会計学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 会計学	
これまでの研究	
① 会計情報に対する資本市場の反応(会計情報の有用性)	
② 会計情報に基づく企業活動の効果測定	
●現在の研究テーマおよび概要	
① ゴーイング・コンサーン(GC)情報に対する資本市場の反応 経営者・監査人が公表するGC情報について, 資本市場に対する有用性を分析・考察。	
② M&A・企業再構築活動の財務的効果の測定 M&Aを含む企業再構築活動が業績改善に結びついているかを実証的に分析。	
③ 財務会計における保守主義に関する実証研究 保守的な会計報告を行う動機・原因とその効果を実証的に分析。	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 企業経営における財務コンサルタント	
キーワード: 会計処理、簿記、会計情報	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
[論文]	
① 「コーポレート・ガバナンスと会計上の保守主義との関連性: 既存研究のレビュー」 『青森公立大学論纂』(青森公立大学), 第2巻第1号, 2016年9月, pp. 19-25.	
② 「会計上の保守主義と社債契約」 『商学討究』(小樽商科大学), 第60巻第1号, 2015年7月, pp. 207-243.	
③ Comparative Study on the Effects of Internal Control Reporting in Japan and China, THE KEIZAI GAKU (TOHOKU Univ.), Vol. 75, Nos. 1-2, Mar. 2015, pp. 17-31.(共著)	
④ 「条件付会計保守主義と借入金契約」 『青森公立大学経営経済学研究』(青森公立大学), 第20巻第2号, 2015年3月, pp. 3-15.	
⑤ 「株式公開買付による買収プレミアムに対する事前交渉の影響ー全部買付案件と部分買付案件との比較ー」 『青森公立大学経営経済学研究』(青森公立大学), 第19巻第2号, 2014年3月, pp. 27-38. (共著)	
⑥ 「株式公開買付の実務と制度改正後の傾向」 『地域政策研究』(高崎経済大学), 第16巻第3号, 2014年2月, pp. 99-114. (共著)	
⑦ 「株式公開買付による経営統合化の短期株価効果」 『高崎経済大学論集』, (高崎経済大学), 第55巻第4号, 2013年3月, pp. 93-105. (共著)	
⑧ 「ゴーイング・コンサーン情報に対する市場の反応とゴーイング・コンサーン監査の役割」 『研究年報経済学』(東北大学), 2010年3月. (共著)	
⑨ 「企業倒産に対する市場反応とゴーイング・コンサーン情報」 『青森公立大学経営経済学研究』(青森公立大学), 第15巻第1号, 2009年9月, pp. 3-15.	
⑩ 「負債比率と株主資本コストとの関係ー自己資本規模を基準としてー」 『税経通信』第61巻第4号, 2006年4月, pp. 177-186.	

⑪ 「資本金の本来的意義と企業規模に対する投資家の評価」 『研究年報経済学』(東北大学), 第67巻第4号, 2006年3月, pp. 85-104.
[社会的活動]
① 会津若松市特別職報酬等審議会(2016年度)
② 会津若松市公設地方卸売市場指定管理者候補者審査委員会委員(2015年度)
③ 会津若松市都市再生整備計画事業評価委員会委員(2014年度)
④ 会津若松市卸売市場運営検討懇談会委員(2013-15年度)
⑤ 会津若松市都市公園及び市民スポーツ施設指定管理者候補者選定委員会委員(2013年度)

産業情報学科 講師 博士(公益学)

アオ キ タカ ヒロ
青木 孝弘

○所属学会・協会 / 日本地域政策学会, 日本NPO学会, 日本公益学会

●専門分野とこれまでの研究

専門分野 : ソーシャルビジネス論、企業家論、地域開発学

これまでの研究

- ① ソーシャルビジネスの経済価値, 社会価値の測定
- ② ソーシャルビジネスのマネジメント
- ③ 中間支援機関(インターメディアリー)の機能分析

●現在の研究テーマおよび概要

- ① ソーシャルビジネスの経営戦略
- ② 中小企業の戦略的CSR
- ③ ソーシャルビジネス教育の国際比較研究
- ④ 域学連携による地域活性化
- ⑤ 外国人技能実習生受入れの効果と課題

●相談に応じられる分野・キーワード

- ① 業績評価と経営戦略(企業, ソーシャルビジネス, 自治体, 地域)
- ② 起業計画
- ③ 観光ビジネス

キーワード: ソーシャルビジネス、業績評価、起業、観光ビジネス

●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)

[著書]

- ① 「ソーシャルビジネスの経済価値, 社会価値—財務データを活用した2つのアプローチ」『社会を変える公益ビジネス—地方都市の再生をめざして』ぎょうせい, 2008
- ② 「水辺空間とまちを繋いだ地域づくり—環境創造型の地域活性化と観光戦略」『第501回建設技術講習会テキスト』, 社団法人全日本建設技術協会, 2005

[論文]

- ① 「災害復興における新たなビジネス・イノベーション」『会津大学短期大学部研究紀要』第74号, 2017
- ② 「新しい起業教育の潮流と課題—米国先進調査と大学間連携山形講座の実践から—」『東北芸術工科大学紀要』第24号共著(池田知之・青木孝弘), 2017
- ③ 「ソーシャルビジネスの評価手法と基盤強化に関する研究」東北公益文科大学大学院博士論文, 2016
- ④ 「ソーシャルビジネスの評価プロセスに関する—考察—ステークホルダー参加型評価を中心に—」『会津大学短期大学部研究紀要』第73号, 2016

⑤ 「ソーシャルビジネスの基盤強化に向けて—中間支援組織による2つのアプローチの考察—」『会津大学短期大学部研究紀要』第72号, 2015
⑥ 「起業家育成の教育効果に関する—考察—社会人力育成山形講座による「見える化」の取り組み—」『東北公益文科大学総合研究論集』vol.25, 2014
⑦ 「社会的企業のソーシャル・アカウンティング—地域福祉事業の事例から」『非営利法人研究会誌』vol.12共著(青木孝弘・馬場英朗), 2010
⑧ 「非営利組織の社会会計—ソーシャル・アカウンティングによる見えない価値の顕在化—」日本NPO学会誌『ノンプロフィットレビュー』vol.9共著(馬場英朗・青木孝弘・木村真樹), 2009
⑨ 「西欧にみるローカル鉄道と地域活性化」『公益ビジネス研究vol.2』, 東北公益文科大学 学術機関公益総合研究所, 2008
⑩ 「地域型ネットワークNGOの発展過程と自己革新の試み」『平成12年度NGO専門調査員報告書』, 外務省経済協力局民間援助支援室, 2001
⑪ 「NPO支援組織の意義と役割」『日米センターNPOフェローシップ—パイロットフェロー研修報告書』, 国際交流基金日米センター, 2001
⑫ The accountability and management of NGOs, 名古屋大学大学院国際開発研究科修士論文, 1997
⑬ 共著Internship/Workshop project for Japanese and American Young NPO Leaders Project Report, Japan Pacific Resource Network, Oakland USA,1996
⑭ 共著An Integrated Development Analysis on the Province of Laguna in the Philippines, 名古屋大学出版会, 1996
【競争的資金】
① 「被災地における中小企業の戦略的CSRに関する日米比較研究—阪神淡路大震災、東日本大震災、ハリケーン・カトリナの事例から—」平成27年度会津大学競争的研究費
② 「中小企業の戦略的CSRに関する研究—震災復興における新たなビジネスイノベーション」福島県学術教育振興財団 平成27年度、平成28年度、平成29年度
[社会的活動]
① 編著『鷹山地区まちづくりアンケート調査報告書』2017.3
② 監修『会津若松市湊地区地域活性化実践事業報告書』2017.3(福島県地域振興課)
③ 監修『会津若松市湊地区まちづくりアンケート調査報告書』2016.3(福島県地域振興課)
④ 監修『会津高原チロリアンフェスタ調査報告書』2015.12(南会津町舘岩支所)
⑤ 編著『十王地区まちづくりアンケート調査報告書』2015.3
⑥ 喜多方市商業振興ビジョン策定検討会議委員(2014~2015)
⑦ 会津若松市役所通り商店街振興組合 デザインコンセプト審査委員会委員(2014~)
⑧ 会津若松市 きらめき女性塾講師(2014, 全3回)
⑨ 山形県総合政策審議会委員(2013.4~)
⑩ 長井市雇用創造協議会 起業セミナー講師(2013, 2014, 2015各18h)
⑪ 南陽・高畠・川西地域雇用創造推進協議会 起業セミナー講師(2013)
⑫ 酒田市 市民大学講座講師(2013, 全3回)
⑬ 編著『NPO評価検討プロジェクト報告書』, 山形県新しい公共推進協議会(2013)
⑭ 長井市振興審議会委員(2012~2014)
⑮ 山形県まちづくりサポーター(2009~2013)
⑯ おきたまネットワークサポートセンター副運営委員長(2009~)

産業情報学科 講師 修士(商学)

ヤ ギ ハシ アキラ
八木橋 彰

○所属学科・協会 / 日本商業学会、日本消費者行動研究学会、日本地域政策学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : マーケティング論、流通論、消費者行動論	
これまでの研究	
① 買物行動の多様化に関する研究	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 買物弱者問題に関するマクロ的考察 買物弱者問題が生じている背景を商業統計や国勢調査などをマクロ・データを用いて検討。	
② 買物弱者問題に関するミクロ的考察 買物弱者問題の解決方法について商業的視点と政策的視点の双方から検討。	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 小売業の流通・販売戦略(インターネット販売・実店舗販売・宅配サービス・ロジスティクスなど)	
② 買物弱者問題へのアプローチ(まちづくり・中心市街地活性化・移動販売など)	
キーワード: マルチチャネル・ショッピング、インターネットショッピング、小売マーケティング、買物弱者問題、まちづくり	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
[論文]	
① 「マルチチャネル・ショッピングの進展がもたらす購買意思決定の多様化に関する実証研究」『慶應義塾大学商学研究科』(修士論文),2010年.	
② 「小売業の効率性追求による買物環境へのインパクト」『経済活動のグローバル化と社会』(慶應義塾大学大学院商学研究科 2010年度 大学院高度化推進研究プロジェクト),2011年,143-153頁.	
③ 「買物行動の多様化に関する実証研究」『慶應商学論集』(慶應義塾大学大学院商学研究科),2012年,27-45頁.	
④ 「飲食料品取扱い小売業の供給体制に関する理論的考察—小売主導型SCMIに着目して—」『会津大学短期大学部研究紀要』,2015年,43-53頁.	
⑤ 「小売構造研究の再検討」『会津大学短期大学部研究紀要』,2016年,101-122頁.	
⑥ 「消費者を取巻く買物環境と中心市街地活性化政策に関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2017年,95-120頁.	
[社会的活動]	
① 河東・北会津地域づくり委員会アドバイザー(2013.7~2014.3)	
② 会津若松市「買い物弱者対策地域協議会」座長(2014.1~2015.3)	
③ 地域産品ブランド認定審査委員会アドバイザー(2014.2~3)	
④ 地域産品ブランド認定審査委員会委員長(2014.4~)	

- | |
|---|
| ⑤ 会津若松市「農村活性化プロジェクト支援事業認定審査会」委員(2014.4～) |
| ⑥ 会津若松市「行政提案型協働モデル事業」(2014.4～2017.3) |
| ⑦ 会津若松市「会津都市計画事業扇町土地区画整理審議会」委員(2014.5～) |
| ⑧ 会津若松市「ふるさと納税返礼品発送業務委託プロポーザル」委員(2016.5～) |

産業情報学科 教授 工学修士

^{トキ}^ノ^ヤ^{シゲル}
 時野谷 茂

○所属学会・協会 / 日本建築学会 日本デザイン学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 建築デザイン 日本近代建築の保存と活用 都市景観	
これまでの研究	
① 建築設計(住宅、公共建築)	
② 日本近代建築の調査と保存的再活用計画	
③ 都市景観調査	
④ 製品デザイン(携帯電話を用いた健康管理器具の開発)	
⑤ 会津桐材を用いた製品デザイン	
⑥ 仮設住宅住環境改善用収納付ベランダの開発	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 地域産材を用いた製品開発	
② 日本近代建築の調査と保存的再活用計画: 明治以降に立てられた日本近代建築はその立地条件等から文化財的価値のみならず都市空間再生の資源でもあるといった視点から研究を進めている。	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 建築デザイン	
② 都市景観	
③ 製品デザイン	
キーワード: 景観、製品開発	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 「大工道具集」(新建築社、1984) 共	
② 「復元鹿鳴館・ニコライ堂・第一国立銀行」(ユーシープランニング、1996) 共	
[論文]	
① 日本近代建築保存に関する基礎的研究」(1996)	
② Terraced Houses In London Facade composition analysis from townscape viewpoint (Third Asia Design Conference Proceeding 1998.10)	
③ 中国民家研究ノート(会津大学短期大学部研究年報、第62号、2005.2)	

④ 日本近代建築の保存・再活用に関する研究 旧報徳銀行水海道支店 (会津大学短期大学部研究年報、第62号、2007.3)
⑤ ロンドンの中・小規模 TERACDE HOUSE 研究ノート(1)～(5) (会津大学短期大学部研究年報、第54号 2007.3、第64号 2009.3、第65号 2010.3、第66号 2011.3、第67号 2012.3)
[特許]
① 生体センサ装置 特許第4633374号 平成22年11月26日
② 瞬時装着型電極装置 特許第4671406号 平成23年1月28日
[社会的活動]
① 会津若松市景観審議会委員〔1992～会長 (2006～)会津若松市 〕
② 住まいに関する相談・支援体制づくり検討委員会 委員(2009,2010 超学際的研究機構)
③ 福島県総合評価委員(2009～ 福島県)
④ 福島県建築審査会委員(委員長職務代理者)(2010～ 福島県)
⑤ (仮称)道の駅猪苗代整備検討委員会委員長(2011.12～2012.09 猪苗代町)
⑥ 川俣町役場庁舎建設検討委員会委員長(2012.03～09)
⑦ 環境創造センター(仮称)整備事業設計者選定に係る公募型プロポーザル審査委員長(2012.12～2013.01)
⑧ 福島県歴史的建造物保全活用促進協議会ヘリテージマネージャー育成委員会委員長(2013～)
⑨ 大学設置・学校法人審議会委員(2014.04～)
⑩ 西会津町立認定こども園新築事業基本設計業務委託業者選定公募型プロポーザル審査委員長(2015.03)

産業情報学科 教授 美術修士

イ ナミ ジュン
井波 純

○所属学会・協会 / 日本文化財漆協会理事、(社)日本漆工協会、日本木地師学会、世界漆文化会議、民族藝術学会、地域活性学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 漆工芸全般	
これまでの研究	
① 作品の制作を通し、新たな漆芸表現の可能性についての研究し作品発表を行う	
② チベット、タイ、ミャンマー、中国、韓国、台湾などアジアにおける漆文化の調査研究	
③ 広島、鳥取、岡山、島根、山口における木地 <small>ろくろ</small> 文化の共同研究調査	
④ オランダ、スペイン、ポルトガルにおいて中世から近世にかけての輸出漆器に対する現地調査	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 美術系大学と連携した会津から全国に発信する漆文化の新たな可能性についての研究と提案	
② 『会津・漆の芸術祭』 会津若松市主催による地域の文化資源の活用・継承・発展を基軸とした漆の可能性について研究	
③ 新しい漆器の開発に対する研究: 美術大学、産地技術者、福島県ハイテクプラザ等と連携し、あらたなモノづくりに向けた提案を行う。	
④ 各展覧会での作品発表 各地で開催される公募展等に研究作品を出品する。	
⑤ 地域民俗文化財や地場産業と連携・活用した新たな地域活性化についての研究	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 漆芸全般についての制作技法、表現について	
② アジアの漆文化について	
③ 漆工芸品および文化財(漆工)の修理・修復について	
キーワード: 漆、 <small>ろくろ</small> 、工芸美術、木地	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[作品発表]	
① 『静域』 2016年 福州国際漆芸双年展出品 轆轤乾漆技法による漆造形作品。	
② 『MANI』 2014年 国際漆展・石川2014審査委員特別賞受賞 木地轆轤技法による漆造形作品	
③ 『Sutupa』 2010年「会津・漆の芸術祭」において、招待作家作品として制作、乾漆技法の造形により3.2メートルの塔を制作展示	
④ 漆塗りSLヘッドマーク 2010年 JR東日本企画による特別列車(SL会津只見号)のヘッドマークを会津漆器の伝統技法にて制作	
⑤ 『CORE』 2009年 「岡本太郎の博物館・はじめる視点～博物館から覚醒するアーティストたち～」展 福島県立博物館主催による展覧会にて乾漆造形作品を制作展示	
[著書]	

① アジアのうるし・日本の漆(東京美術・1996)共著
[論文]
① 轆轤文化の調査研究－中国地方を轆轤文化と技術を中心に－(広島市立大学特定研究 2008)
[社会的活動]
① 日本文化財漆協会理事(2006～)
② (社)日本漆工協会会員
③ 会津工芸新生会理事(2007～)
④ 喜多方市美術館「公募・ふるさとの風景展」審査委員(2009～)
⑤ ふくしま産業応援ファンド・ふくしま農商工連携ファンド審査委員(2012～)
⑥ 会津若松市「あいづまちなかアートプロジェクト」総合アドバイザー(2013～)

産業情報学科 教授 芸術学修士

シバ サキ ヤス ヒデ
柴崎 恭秀

○所属学会・協会 / 日本建築学会、こども環境学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 建築計画、建築設計、地域計画、アート計画	
これまでの研究	
① 都市建築における公開性と施設構成に関する研究	
② キャンパス施設の計画・設計	
③ 住宅・集合住宅の計画・設計	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 地域アートプロジェクトの計画 地域で行われるビエンナーレ、トリエンナーレなどのアート計画・会場構成など	
② 木造住宅における矩計等ディテールに関する研究 木造住宅のディテールについて、矩計図を主とした従来工法と最新工法の比較や地域性についての研究	
③ 杉間伐材を用いた住宅の新構法の研究(1) 県産杉間伐材を用いた積層パネル構法について研究し地域材の活用を検討する。	
④ 杉間伐材を用いた住宅の新構法の研究(2) 主構造を鉄骨造とした構造形式で県産杉間伐材を用いる新構法について研究し、地域材のさらなる活用を促す。	
⑤ 地域材を用いた仮設住宅・復興住宅の研究 地域材を用いた木造応急仮設住宅の調査研究及び今後建設される復興住宅への地域材の活用を研究する。	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 建築計画・設計に関する全般	
② アートプロジェクト・アート計画	
③ 地域計画・まちづくり	
キーワード: 建築計画、建築設計、アート計画、地域計画、まちづくり	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 「まちを再生する99のアイデア」著書(彰国社・2012)	
② 「木造住宅納まり詳細図集コンプリート版」共著(エクスナレッジムック2008)	
[論文]	
① 「会津地域におけるサウンドスケープ調査研究」 (社)北陸建設弘済会第11回「北陸地域の活性化」研究助成事業論文集	
② 「子どものためのアクティビティ・プログラム調査研究」 福島県平成18年度地域課題調査研究助成事業論文	
[社会的活動]	

① 会津若松市扇町土地区画整理事業委員(2005～2014)
② 福島県現代美術ビエンナーレ常任理事
③ 会津若松市景観審議会委員
④ 福島大学芸術による地域創造研究所連携研究員

産業情報学科 准教授 デザイン学修士

タカ ハシ ノブ マサ
高橋 延昌

○所属学会・協会 / 日本基礎造形学会理事、日本デザイン学会、超学際的研究機構研究チーム員、日本色彩教育研究会理事、アジアネットワークビヨンドデザイン理事

●専門分野とこれまでの研究	※詳細については個人ホームページで紹介 → http://www.jc.u-aizu.ac.jp/u/takahasi/
専門分野 : 視覚伝達デザイン、基礎造形、デザイン教育	
これまでの研究	
① 視覚伝達デザインの実践(広告・出版・印刷・パッケージ等、PRデザイン)	
② コンピュータグラフィックスを活用した教育の実態調査(小学校から高校まで)	
③ 光の軌跡・ライトアートの教材研究(科研費採択等)	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 地域ブランドもしくは地域活性化に役立つ視覚伝達デザインの提案: 理論や調査だけでなく、実際に形として見えるPRツールを新たに提案できる研究スタイル	
② 学生のアイデアを活用した奥会津地方・只見線の活性化デザイン	
③ 産学連携および小中高大連携事業	
④ 新しい基礎造形教育(基礎デザイン教育)の開発	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 地域ブランドや商品をPRするデザインの提案	
② 基礎造形教育(基礎デザイン教育)の調査及び開発	
③ ラベルやパッケージ、ポスター等のデザイン提案(学生コンペとしての実施も可)	
④ 色彩もしくは錯視についてのセミナー	
⑤ 自治体や各種団体イメージキャラクターやマスコット、ロゴマークなどのデザインもしくは審査	
キーワード: PRデザイン、基礎造形、色彩、錯視、ロゴマーク、パッケージ、マスコット	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 『色のまなび事典』3巻「光であそぶ①光の軌跡」(共著), 株式会社星の環会, 2015	
[論文]	
① 張子「ふわもこ羊」郷土玩具の新たな商品化, 日本デザイン学会作品集「デザイン学研究」第20号2014	
② 配色技法による地域振興キャラクターの分類とその色彩教育へ利用の可能性, 日本基礎造形学会論文集「基礎造形023」, 2015	
③ 光の重色を活用した加法混色教材の試み, アジア基礎造形連合学会2015 成田大会 学会誌, 2016	
④ スータブル・ギア・デザインの概念と地域活性化への試み: キャラクターをコアにして震災復興および風評被害対策に立ち向かう福島県の事例より, 日本デザイン学会第59回研究発表, 2012	

⑤ 奥会津・只見線沿線地域の社会問題を把握するための基礎研究-2015年および2016年の調査より-, 会津大学短期大学部研究紀要第74号, 2017

[社会的活動]

- ① 国立大学法人福島大学 非常勤講師 (担当科目: 視覚デザイン I・II)
- ② 画像情報教育振興協会 認定CG講師、認定マルチメディア講師
- ③ 産学連携および小中高大連携事業
- ④ ロゴマークやマスコットなど各種デザイン多数(代表作: 会津美里町「あいづじげん」)
- ⑤ 福島県食品産業協会「なつはぜふるーてい」考案(2013年)
- ⑥ 会津若松市健康増進課「レッツ! こぼりんダンス」(2014年)
- ⑦ 会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会デザイナー及び広報アドバイザー
- ⑧ 只見線利活用プロジェクトチーム(所管: 福島県生活環境部)

産業情報学科 准教授 博士(芸術工学)

ヨコ オ マコト
横尾 誠

○所属学会・協会 / 日本デザイン学会 芸術工学会 Asia Digital Art and Design Association (ADADA)

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : インタフェースデザイン インタラクションデザイン	
これまでの研究	
① アイゲイズインタフェースに関する研究	
② 画面表示される時系列的切替え文字に関する研究	
●現在の研究テーマおよび概要	
① フィジカルコンピューティングを使用した入力デバイスとコンテンツの活用に関する研究	
② 携帯端末アプリケーションプロジェクト(画面デザイン)	
6. 相談に応じられる分野・キーワード	
① インターフェイスデザイン 画面デザインと時系列的变化がある画面デザインにおける主観評価など	
② インタラクションデザイン ヒトの行動に反応するモノのふるまいのデザインとその評価	
キーワード: ウェブ、画面、インタフェース、インタラクション、エクスペリエンス	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[論文]	
① “Urushi Rotating Controllers and Interface Design Based on Physical Computing” The 10th Annual Conference of ADADA & the 6th International Conference of TADMD, pp.41-45, 2012	
② “フィジカルコンピューティングの漆芸作品への展開” デザイン学会 第59回研究発表大会概要集, pp.314-315, 2012	
③ “地域資源の映像コンテンツ制作に関する研究 -取材テーマの類型化とシーン構成のパターン化による作業の効率化-” 芸術工学会 2008年度秋季大会, pp.52-53, 2008	
④ “地域活性化を目的とした地域資源の映像コンテンツ制作とその指導方法” 平成20年度教育改革IT戦略大会, pp.60-61, 2007	
⑤ “アイゲイズインターフェースにおける文字入力ツール” 芸術工学会, 芸術工学会誌26号, 有, pp.114~117, 2000.	
⑥ “A Design and Design Process of Reading Test Tool for Animating Character Display” 4th. Asian Design Conference Bulletin, ISBN4-9980776-0-0 C3072, pp.711~720, 1999.	
[特許]	
① “テキスト高速順次切替表示システムおよびテキスト高速順次切替表示プログラム並びにテキスト高速順次切替表示方法”, 富松潔, 正司 敬之, 福川洋, 横尾誠, 特開2004-220109, 2004	
[社会的活動]	
① 会津・漆の芸術祭実行委員 (平成24年度) 2010-2012	
② <漆のくに・会津>プロジェクト実行委員 (平成21年度 文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業) 2009-2010	
③ 産業人材育成推進協議会 (テクノアカデミー会津) 2008-2011	

産業情報学科 講師 修士(造形)

^{キタ}
^{モト}
^ガ
^ク
 北本 雅久

○所属学会・協会 /

●専門分野とこれまでの研究
専門分野:グラフィックデザイン
これまでの研究
① グラフィック表現を主とするデザイン制作
② デザイン分野の展示企画
●現在の研究テーマおよび概要
① グラフィックデザインの制作研究
●相談に応じられる分野・キーワード
① グラフィック分野の各種デザイン制作
② 展示企画
③ デザイン・造形分野のワークショップ
キーワード:グラフィックデザイン、ポスター、フライヤー、パンフレット、展示企画、ワークショップ
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)
[著書]
[論文]
[社会的活動]
①会津若松市「あいづまちなかアートプロジェクト」展示アドバイザー(2015～)
②第4回「民家の甲子園」福島大会～町並みフォトコンテスト 審査員(2015)

食物栄養学科 教授 博士(医学)

タ ナカ マサ ミ
田中 政巳

○所属学会・協会 / 日本薬理学会、日本内分泌学会、日本内分泌攪乱化学物質学会、日本実験動物学会、日本動物学会、日本骨代謝学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 内分泌学、薬理学	
これまでの研究	
① 内分泌攪乱化学物質の性腺機能に対する影響に関する研究	
② 女性ホルモンと血液凝固に関する研究	
③ 肝薬物代謝に関する研究	
④ 高脂血症と性腺機能の関連に関する研究	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 自然発症軟骨石灰化不全ラットを用いた軟骨石灰化機構の解明	
② 自然発症不妊症ラットを用いた不妊機序の解明	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 薬物代謝	
② 薬物相互作用	
③ 内分泌攪乱化学物質	
④ 血液凝固線溶	
⑤ 性ホルモン	
キーワード: 内分泌、エストロゲン、薬物代謝、血栓	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 「わかりやすい人体の仕組みー主な疾患へのアプローチ、田所 衛監修 (日本医学館、2007)」	
[論文]	
① Establishment of a novel dwarf rat strain: cartilage calcification insufficient (CCI) rats. <i>Experimental Animals</i> 64:121-128, 2015	
② Neonatal Estrogen Receptor β Is Important in the Permanent Inhibition of Epithelial Cell Proliferation in the Mouse Uterus. <i>Endocrinology</i> 156: 3317-3328, 2015	
③ Transcriptome profiling of mice testes following low dose irradiation. <i>Reprod Biol Endocrinol</i> 2013, 11:50 http://www.rbej.com/content/11/1/50	
④ Orange juice and its component, hesperidin, decrease the expression on multidrug resistance-associated protein 2 in rat small intestine and liver. <i>Journal of Biomedicine and iotechnology</i> 2011, Article ID 502057, 8pages	

⑤ Individual metabolic capacity evaluation of cytochrome P450 2C19 by protein and activity in the small intestinal mucosa of Japanese pancreatoduodenectomy patients. <i>Biol. Pharm. Bull</i> 34: 71-76, 2011
⑥ Polymorphism of Warfarin Related Genes (VKORC1 and CYP2C9) Analyzed by the Smart Amplification Process Method in Patients with Atrial Fibrillation. <i>J. St. Marianna Univ.</i> 2: 225-229, 2011
⑦ Trisomy of rat chromosome 1 in haematopoietic cell lineages may cause early-onset of parapregia. <i>Bulletin of Nippon Veterinary and Life Science University</i> 59: 51-57, 2010
⑧ Gene expression profiles of mouse spermatogenesis during recovery from irradiation. <i>Reprod Biol Endocrinol</i> , 19, 130-44, 2009
⑨ Profile of serum testosterone levels after application of testosterone ointment (glowmin) and its clinical efficacy in late-onset hypogonadism patients. <i>J Sex Med</i> 5: 1727-1736, 2008
⑩ Effects of castration and testosterone administration on angiotensin II receptor mRNA expression and apoptosis-related proteins in rat urinary bladder. <i>Endocr J</i> 54: 211-219, 2007
⑪ Effect of prenatal exposure to bisphenol A on the serum testosterone concentration of rats at birth. <i>Human & Experimental Toxicology</i> 25: 369-373, 2006
⑫ Effects of bisphenol A given neonatally on reproductive functions of male rats. <i>Reprod Toxicol</i> 22:20-29,2006
⑬ Identification and expression profiling of 10 novel spermatid expressed CYPT genes. <i>Mol Reprod Dev</i> 73: 568-579, 2006
⑭ An analysis of cell-type-specific gene expression during mouse spermatogenesis. <i>Biology of Reproduction</i> 70: 1751-1761, 2004
⑮ Expression of CYP3A4 protein level and metabolic activity in human liver. <i>J Pharmacol Sci</i> 94: 459-462,2004
⑯ Germ cell differentiation-dependent and stage-specific expression of LANCL1 in rodent testis. <i>Eur J Histochem</i> 47: 215-222, 2003
⑰ Ebselen protects against the reduction in levels of drug-metabolizing enzymes in livers of rats with deoxycholic acid-induced liver injury. <i>Pharmacology & Toxicology</i> 91: 64-70, 2002
⑱ Sensitive determination of bisphenol A and alkylphenols by high performance liquid chromatography with precolumn derivatization with 2-(4-carboxyphenyl)-5,6-dimethylbenzimidazole. <i>Biomed Chromatogr</i> 15: 403-407, 2001
⑲ Effects of estrogen on serum leptin levels and leptin mRNA expression in adipose tissue in rats. <i>Hormone Research</i> 56: 98-104, 2001
⑳ Impaired testicular function in rats with diet-induced hypercholesterolemia and/or streptozotocin-induced diabetes mellitus. <i>ENDOCRINE RESEARCH</i> 27 (1&2): 109-117, 2001
㉑ Ursodeoxycholic acid prevents hepatic cytochrome P450 isozyme reduction in rats with deoxycholic acid-induced liver injury. <i>Journal of Hepatology</i> 31: 263-270, 1999
㉒ Effects of ovariectomy and estrogen replacement on blood coagulation activities in spontaneously hyperlipidaemic rats with hypoalbuminaemia. <i>Med Sci Res</i> 27: 99-102, 1999
㉓ Effects of the estrous cycle and the gender difference on hepatic drug-metabolizing enzyme activities. <i>Pharmacol Res</i> 35: 477-480, 1997
[社会的活動]
① 会津若松市国民健康保険運営協議会委員(会長)
② 福島県国民健康保険運営協議会連絡会理事
③ 会津若松市環境審議会委員
④ 会津美里町町民参加推進会議委員(会長)
⑤ 日本薬理学会評議員
⑥ 日本内分泌学会評議員
⑦ 内分泌攪乱化学物質学会評議員

食物栄養学科 教授 博士(農学)

齋藤 文也

○所属学会・協会 / 日本家禽学会、日本畜産学会、日本災害食学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野：食品化学、食品衛生学、食品栄養学、食品機能学、家畜栄養学	
これまでの研究	
① 食品中カロテノイドの機能性	
② 鶏卵における不飽和脂肪酸	
③ 家畜へのビタミンD ₃ 給与の影響	
④ 有機スズにおける神経毒性	
⑤ HACCPにおける簡易検査法の活用	
⑥ 体細胞クローン牛・受精卵クローン牛における乳質・肉質	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 食品と放射線	
② 循環型農業に基づく地産地消のしくみ	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 食品の付加価値化、差別化	
② 食品中カロテノイド	
キーワード：カロテノイド、不飽和脂肪酸、畜産食品、鶏卵	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 「コンパクト食品学-総論・各論-」日本食品標準成分表2015年版(七訂)準拠 青木正・齋藤文也(編著)朝倉書店, 2016.	
② 「新しい衛生管理法 ATPふき取り検査、ATP迅速検査研究会編(鶏卵肉情報センター出版, 2002.p98-102)」	
[論文]	
① Maternal Intake of Astaxanthin Improved Hatchability of Fertilized Egg Stored at High Temperature (Fumiya Saito, Kazumi Kita) Journal of Poultry Science 48.1.33-39, 2011.	
② 大豆の家庭調理による放射性セシウム量の低減(小林未希、齋藤文也) 日本災害食学会誌.1.1.59-63, 2014	
③ 孵化時にみられた採卵鶏ひなの背後方屈曲(頸曲がり)(有藤翔平、御領政信、佐々木淳、齋藤文也、山中綾子、岡田幸助) 鶏病研究会報. 44.1, 9-14, 2009	
④ 地鳥や野鶏等の貴重家禽から分離した始原生殖細胞(PGCs)の凍結保存の試み(伊藤なつき、川越雄太、齋藤靖史、佐藤直人、齋藤美緒、力丸宗弘、辻本恒徳、齋藤文也、松原和衛) 日本家禽学会誌48. 1. 6-13, 2011	
⑤ Changes in Plasma Bone Metabolic Markers in Periparturient Dairy Cows. (Danil Kim, Norio Yamagishi, Atsushi Ueki, Moe Miura, Fumiya Saito, Shigeru Sato and Kazuhisa Furuhashi) Journal of Veterinary	

Medical Science 72.6,773-776, 2010.

⑥ Effects of Tri-, Di- and Monobutyltin on Synaptic Parameters of the Cholinergic System In the Cerebral Cortex of Mice. (Haruo Kobayashi, Tadahiko Suzuki, Yoshinori Kasashima, Akira Motegi, Itaru Sato, Naonori Matsusaka, Naoko Ono, Akemi Miura, Fumiya Saito and Shin-ya Saito) Japanese Journal Pharmacological 72.4, 317-324, 1996

⑦ Effects of Organotins on the Cholinergic System in the Chicken Brain in vitro. (Haruo Kobayashi, Fumiya Saito, Akira Yuyama) Toxicology in Vitro 6 .4, 337-343,1992.

[社会的活動]

① 農林水産省 消費・安全局リスク管理検討会 案件対応メンバー (～2012.3)

② 岩手大学農学部附属 動物医学食品安全教育研究センター 事業推進委員(～2012.3)

③ 独立行政法人 家畜改良センター 岩手牧場 内部業務検討会 検討委員(～2012.3)

④ 喜多方市アグリチャレンジ支援事業選考・評価委員会副委員長(2012.6～)

⑤ 奥会津金山赤カボチャ～高齢者による循環型産業開発事業, 委託研究調査(2013～2015)

食物栄養学科 教授 博士(医学)

ヒダリ カズ ヤ
左 一八

○所属学会・協会 / 日本生化学会、日本薬学会、日本糖質学会、日本ウイルス学会、日本脂質生化学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 生化学、糖鎖生物学、ウイルス学	
これまでの研究	
① 糖鎖の構造と機能に関する研究	
② 糖鎖認識による病態機構の解明と創薬・診断薬への応用	
③ ウイルスの宿主感染・増殖機構の解明と創薬への応用	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 糖鎖認識による病態機構の解明と診断薬の開発 単クローン抗体を利用した特異的糖鎖検出系の確立およびそれをを用いた病態解明と診断薬開発	
② ウイルスの宿主認識機構の解明と創薬への応用 単クローン抗体を利用したウイルス宿主認識にかかわる糖質分子の同定と創薬リードの創出	
③ 地域伝統食材に含まれる機能性成分の調査・分析・レシピ開発 生化学的手法と機器分析を組み合わせた食品中の機能性成分分析法の確立	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 糖質の機能性研究	
② ウイルス感染症関連研究	
③ 食品機能性成分研究	
キーワード: 糖質、糖鎖、シアル酸、ウイルス感染、機能性食品、地域伝統食材	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 化学療法の領域「飛躍的に発展を見せる抗ウイルス薬」抗 Dengue ウイルス薬開発の現状(医薬ジャーナル社) 33巻1号、pp. 89-95 (2017)	
② 生物化学実験法35巻「ガングリオシド研究法I、II」(学会出版センター) pp. 185-193 (1996)	
[論文]	
① Isolation and characterization of monoclonal antibodies specific for chondroitin sulfate E. <i>Glycobiology</i> , 25(9), 953-962 (2015)	
② Facile Synthesis of Sulfated Sialoglycopolypeptides with a γ -Polyglutamic Acid Backbone as Hemagglutinin Inhibitors against Influenza Virus. <i>J. Appl. Glycosci.</i> , 61, 1-7 (2014)	
③ Measurement of aberrant glycosylation of prostate specific antigen can improve specificity in early detection of prostate cancer. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 448, 390-396 (2014)	
④ Computational design of a sulfoglucuronide derivative fitting into a hydrophobic pocket of dengue virus E protein. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 449, 32-37 (2014)	
⑤ Influenza virus utilizes N-linked sialoglycans as receptors in A549 cells. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 436, 394-399 (2013)	
⑥ Improvement of Depression-Like Behavior and Memory Impairment with the Ethanol Extract of <i>Pleurotus eryngii</i> in Ovariectomized Rats. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 36, 1990-1995 (2013)	

⑦ Carbohydrate-Related Inhibitors of Dengue Virus Entry. <i>Viruses</i> 5, 605-618 (2013)
⑧ 3-O-sulfated glucuronide derivative as a potential anti-dengue virus agent. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 424, 573-578 (2012)
⑨ Dengue virus type 2 recognizes the carbohydrate moiety of neutral glycosphingolipids in mammalian and mosquito cells. <i>Microbiol. Immunol.</i> 55, 135-140 (2011)
⑩ Antiviral activity of chondroitin sulphate E targeting dengue virus envelope protein. <i>Antiviral Res.</i> 88, 236-243 (2010)
⑪ Infectivity and pathogenicity of canine H3N8 influenza A virus in horses. <i>Influenza Other Respi. Viruses</i> 4, 345-351 (2010)
⑫ Identification and characterization of flavonoids as sialyltransferase inhibitors. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 382, 609-613 (2009)
⑬ Chemoenzymatic synthesis of sialoglycopolypeptides as glycomimetics to block infection by avian and human influenza viruses. <i>Bioconjugate Chem.</i> 20, 538-549 (2009)
⑭ Chemoenzymatic synthesis, characterization, and application of glycopolymers carrying lactosamine repeats as entry inhibitors against influenza virus infection. <i>Glycobiology</i> 18, 779-788 (2008)
⑮ Structure and anti-dengue virus activity of sulfated polysaccharide from a marine alga. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 376, 91-95 (2008)
⑯ Binding kinetics of influenza viruses to sialic acid-containing carbohydrates. <i>Glycoconjugate J.</i> 24, 583-590 (2007)
⑰ Slow diffusion of lactose out of Galectin-3 crystals monitored by X-ray crystallography: possible implications for ligand-exchange protocols. <i>Acta Cryst. Section D</i> 63, 415-419 (2007)
⑱ The New Role of Disodium Cromoglycate in the Treatment of Adults with Bronchial Asthma. <i>Allergology International</i> 56, 231-239 (2007)
⑲ Suppression of the biosynthesis of cellular sphingolipids results in the inhibition of the maturation of influenza virus particles in MDCK cells. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 29, 1575-1579 (2006)
⑳ Identification and characterization of carbohydrate molecules in mammalian cells recognized by dengue virus type 2. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 139, 607-614 (2006)
㉑ Purification and characterization of a soluble recombinant human ST6Gal I functionally expressed in <i>Escherichia coli</i> . <i>Glycoconjugate J.</i> 22, 1-11 (2005)
㉒ In Vitro and In Vivo Inhibitory Effects of Disodium Cromoglycate on Influenza Virus Infection. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 27, 825-830 (2004)
㉓ Identification of glycosphingolipid receptors for pierisin-1, a guanine-specific ADP-ribosylating toxin from the cabbage butterfly. <i>J. Biol. Chem.</i> 278, 9972-9978 (2003)
㉔ Engagement of endogenous ganglioside GM1a induces tyrosine phosphorylation involved in neuron-like differentiation of PC12 cells. <i>Glycobiology</i> 11, 335-343 (2001)
㉕ Engagement of P-selectin Glycoprotein Ligand-1 Enhances Tyrosine Phosphorylation and Activates Mitogen-activated Protein Kinases in Human Neutrophils. <i>J. Biol. Chem.</i> 272, 28750-28756 (1997)
㉖ Complete removal of sphingolipids from the plasma membrane disrupts cell-substratum adhesion of mouse melanoma cells. <i>J. Biol. Chem.</i> 271, 14636-14641 (1996)
㉗ Expression cloning of a cDNA for human ceramide glucosyltransferase that catalyzes the first glycosylation step of glycosphingolipid synthesis. <i>Proc. Natl. Acad. Sci. USA</i> 93, 4638-4643 (1996)
[特許]
① 前立腺癌の検出に有用な単クローン抗体およびその抗体をコードする遺伝子 特願2014-225019 (2014年11月5日出願)
② 前立腺癌と前立腺肥大を識別するための方法およびキット 特願2012-226489 (2012年10月12日出願) (国際出願番号:PCT/JP2013/077495)
③ 抗 Dengue ウイルス剤 特願2010-248271、(2010年11月5日出願)
④ フラボン誘導体の製造方法およびシアル酸転移酵素阻害剤 特願2008-219288、(2008年8月28日出願)
⑤ インフルエンザの予防または治療剤 特願2003-129717、特許公開2004-352712、(2003年5月8日出願、2004年12月16日公開)
[社会的活動]

食物栄養学科 准教授 博士(学術)

ミヤ シタ トモ コ
宮下 朋子

○所属学会・協会 / 日本家政学会、日本調理科学会、日本栄養改善学会、日本災害食学会、日本咀嚼嚥下リハビリテーション学会、日本栄養士会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 調理科学	
これまでの研究	
① 気泡含有食品の性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性	
② ゼラチンゾルおよびゲルの性状に及ぼす副材料の影響	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 気泡含有食品の性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性 食品に気泡が混入することによるテクスチャーの変化を利用した、嗜好性の高い嚥下障害対応食品の検討	
② 福島県産自然薯を利用した気泡含有食品 粘りの強い福島県産自然薯を利用して、菓子、高齢者用食品の開発	
③ 塩味感受性を向上させるための教育方法について 栄養士に必要となる塩味感受性を向上させるための教育方法の検討	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 食品の性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性	
② 自然薯を用いた気泡含有食品	
③ 塩味感受性を向上させるための教育方法	
④ ゼラチンゾルおよびゲルの性状に及ぼす副材料の影響	
キーワード: 嚥下困難者用食品、自然薯、気泡含有食品	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
①『調理学実習 基本調理から給食への展開 第二版』, 同文書院(2016) 編著	
②『新 調理学実習 一般調理から大量調理 その基礎と展開 一』, 同文書院(2013) 編著	
③『調理学の基本 一 おいさと健康を科学する 一』, 同文書院, pp. 23-55(2007)	
[論文]	
① 魚肉混合ムース製品の創成とQOLを高める嚥下困難者用食品への利用適性, 日本調理科学会誌, 47, 84-89 (2014)	
② 自然薯ゼラチンゲル製品の品質に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性, 日本調理科学会誌, 47, 17-24(2014)	
③ フレンチメレンゲの性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性, 日本家政学会誌, 64, 725-732(2013)	
④ 自然薯蒸しパンの品質に及ぼす気泡の影響と蒸しパン粥の利用適性, 日本調理科学会誌, 46, 53-60(2013)	
⑤ Detection and Analysis of the Thermal Conduction in Foodstuffs during Cooling Procedure, Journal of Cookery Science of Japan, 45, 413-421(2012)	

⑥ イタリアンメレンゲの性状や嗜好性に及ぼすシロップの砂糖濃度の影響, 日本調理科学会誌, 43, 26-33 (2010)
⑦ ババロアの物性に及ぼす起泡生クリームの性状とゼラチンゾルの混合温度の影響, 日本家政学会誌, 57, 469-475 (2006)
⑧ 減塩教育の可能性について - 塩分濃度差識別調査からの検討 - 会津大学短期大学部年報63号, 139-146 (2006)
⑨ 熱伝達率を利用した非破壊法による調理食品のゲル化温度の測定 - 従来法との比較 -, 福島大学教育学部理科報告, 56, 25-35 (1995)
⑩ 寒天混合ゼラチンゾルのゲルへの変換とゲルのレオロジー的特性, 日本調理学会誌, 27, 363-368 (1994)
[社会的活動]
① 福島県産品選定委員会副会長
② 日本栄養改善学会評議員
③ 福島県栄養士会副協議会長

食物栄養学科 准教授 修士(地域政策)

鈴木 秀子

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本公衆衛生学会、日本食育学会、日本健康教育学会、日本社会教育学会、日本栄養士会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 公衆栄養 栄養教育・指導	
これまでの研究	
① 食環境整備に関する調査研究	
② 栄養士の就業状況と意識に関する研究	
③ 小学生・中学生・高校生・大学生の食生活に関する調査研究	
④ 幼稚園・保育所における食育に関する研究	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 幼児期の食育に関する研究 ・ 幼児の身体機能の発達段階に応じた食育の具体的な内容と方法を探る。 ・ 子育て中の母親の食事づくり及び食生活の問題の把握と、それに対応した栄養指導のあり方を探る。 ・ 幼稚園・保育所の食育について、現状分析と今後のあり方を探る。	
② 食をとおした地域づくり活動に関する研究 ・ 食生活改善推進員の地区組織活動をとおした学びを分析する。 ・ 食をとおした健康づくり活動が地域づくりに発展する可能性と要因を探る。	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 食育、栄養教育・指導、公衆栄養	
② 食育推進計画、健康増進計画(栄養・食生活分野)の策定・評価	
③ 食環境整備(地区組織育成、職域における健康づくり、飲食店等による健康づくり支援)	
キーワード: 食をとおした子育て・子育て、食育推進計画、食育プログラム、食をとおした健康づくり・地区組織育成	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 健康南会津21計画 げんき いきいき ながいき 広げよう健康の輪 南会津(福島県南会津保健所,2002.3)	
② 栄養摂取状況調査報告書(健康南会津21推進事業)(福島県南会津保健所,2002.3)	
③ 地区組織支援者のための手引～よりよいパートナーシップを目指して～(福島県,2003.3)	
④ 山都町住民の食生活に関する調査事業報告書(福島県山都町、福島県会津保健福祉事務所,2003.3)	
⑤ 食を通じた子育て・子育て支援事業 食育に関する実態調査報告書(会津大学短期大学部、福島県保健福祉部,2008.3)	
⑥ 食育ガイド 幼稚園・保育所から わくわく ときどき きらきら を広めよう!(会津大学短期大学部、福島県保健福祉部,2009.3)	
⑦ 紙芝居「いただきます ごちそうさま」(会津大学短期大学部、福島県保健福祉部,2009.3)	

⑧ 食育に関する実態調査報告書(幼児と保護者の食生活に関する実態、幼稚園・保育所における食育の実態)(2015.3)
[論文]
① 福島県における健康づくりのための食環境整備の現状と課題(会津大学短期大学部研究年報第62号,2005.2)
② 栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての取り組み(会津大学短期大学部地域総合調査室 地域研究第13号,2007.3)
③ 栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討(第一報)グループインタビューの実施結果(会津大学短期大学部地域総合調査室 地域研究第13号,2007.3)
④ 栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討(第二報)栄養士等の就業状況と意識に関する調査結果(会津大学短期大学部地域総合調査室 地域研究第13号,2007.3)
⑤ 子どもから家庭へつなぐ食育 ～保護者の「学び」からの検討～(会津大学短期大学部研究年報第67号,2010)
⑥ 食生活を通じた健康づくりから地域づくりが展開する可能性 ～会津美里町ポテトの会を事例に～ (福島大学大学院地域政策科学研究科 2010年度修士論文、2011)
⑦ 食生活改善推進員会に対する市町村の支援のあり方について ～食生活改善推進員養成講座が及ぼす影響からの検討(会津大学短期大学部研究紀要 第69号,2012)
⑧ 福島県における幼稚園・保育所の食育の現状と課題 ～栽培活動について～(会津大学短期大学部研究紀要 第73号,2016)
⑨健康長寿のための減塩&野菜を食べよう大作戦「食行動実態把握調査結果集計・分析業務」食行動実態把握調査結果集計・分析報告書(会津大学短期大学部、2017.3)
[社会的活動]
① 福島県食育推進ネットワーク会議構成委員(副会長)
② 第11回食育推進全国大会福島県実行委員会企画部会(座長)
③福島県環境審議会委員
④ふくしま地産地消大賞審査委員会委員
⑤チャレンジふくしま県民運動推進協議会ワーキンググループ
⑤ 平成28年度会津地方地域・職域連携推進協議会委員(座長)
④ 喜多方市健康づくり推進協議会委員
⑤ 喜多方市食育推進会議の委員
⑥ 会津坂下町健康づくり推進協議会委員
⑦ 日本栄養改善学会東北支部会幹事(福島県)
⑧ (公社)福島県栄養士会平成28年度「管理栄養士・栄養士人材確保体制づくり支援事業」アドバイザー

食物栄養学科 講師 修士(栄養学)

カ トウ マコト
加藤 亮

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本栄養食糧学会、日本公衆衛生学会、日本体力医学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 栄養指導、栄養教育、公衆栄養学	
これまでの研究	
① 地域における栄養教育プログラムの開発	
② 個別栄養指導のシステム化、効率化に関する研究	
③ 産後の母親のやせ願望と健康観に関する研究	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 栄養教育ツールの開発 ICタグとフードモデルを組み合わせた栄養指導ツールの開発、評価	
② 地域における新しい保健プログラムの開発 身体活動と食事を組み合わせたプログラムの開発、評価	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 生活習慣病予防	
② 栄養教育、栄養指導	
③ 地域保健事業の評価	
④ 身体活動量の評価	
キーワード: 栄養指導、栄養教育、栄養教育ツール、予防、身体活動量	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 『公衆栄養学に必要な統計』 (公衆栄養学(分担執筆) NEXT栄養科学シリーズ講談社サイエンティフィック 2004・2005年)	
② 『特集日本人の食事摂取基準(2005年版) 高齢者』(臨床栄養Vol.106 No.1(分担執筆) 医歯薬出版 2005年)	
[論文]	
① 妊娠時肥満を含む母親に対する栄養指導の有効性に関する研究(『栄養日本』第48巻 2005年)	
② Effects of Diet and Physical Activity on Obesity and Energy (『Metabolism in Japan Exercise, nutrition, and Environmental stress』 2004年)	
③ 佐那河内村民の栄養調査 (『阿波学会紀要』 第48号 2002年)	
[社会的活動]	

食物栄養学科 講師 短期大学士

コ バヤシ ミ キ
小林 未希

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本給食経営管理学会、日本災害食学会、日本栄養士会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 給食経営管理	
これまでの研究	
① 家庭調理における大豆の放射性セシウムの除去に関する研究	
② 家庭調理におけるローリングストック法に関する研究	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 凍み大根や干し野菜、半干し野菜等を人工的に作製し、天然物との比較を行い利点を追究する。	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 小・中学生の料理教室	
② 小・中学校、高等学校における食に関する授業	
③ 栄養教育	
④ スポーツ栄養	
キーワード: 栄養指導、料理教室	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
[論文]	
① 大豆の家庭調理による放射性セシウム量の低減(小林未希、齋藤文也、日本災害食学会誌, vol.1 No.1, 59-63, 2014)	
[社会的活動]	

食物栄養学科 助手 学士(食物栄養学科)

阿部 桂子

○所属学会・協会 / 日本栄養士会、日本栄養改善学会

●専門分野とこれまでの研究
専門分野:給食管理、公衆栄養
これまでの研究
●現在の研究テーマおよび概要
① 効果的な減塩普及の取り組みについて
●相談に応じられる分野・キーワード
① 離乳食に関すること
② 親子料理教室
キーワード:離乳食、親子料理教室
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)
[著書]
[論文]
[社会的活動]
①喜多方市勤労青少年ホーム運営委員会委員

食物栄養学科 助手 修士(人間文化学)

ミズ オ カズ マサ
水尾 和雅

○所属学会・協会 / 日本栄養士会、日本調理科学会、日本家政学会、日本食品科学工学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 調理学	
これまでの研究	
① ガス加熱とIH加熱が大根への塩化ナトリウムの浸透およびテクスチャーへ及ぼす影響について	
② 大学教職員を対象とした栄養アセスメントに基づく給食経営管理実習の試みについて	
③ ベークドチーズケーキの性状と動的粘弾性挙動に及ぼす鶏卵の影響について	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 菓子類に含まれる卵の乳化性について	
② 気泡を多く含有する焼成菓子における油脂の影響について	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① お菓子作りにおける卵の乳化性について	
② 簡単な料理教室	
キーワード: 卵、乳化性、料理教室	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
[論文]	
① 大根の加熱および保存過程がコラーゲン、グリセリド、塩化ナトリウムの浸透および硬さに及ぼす影響(『日本調理科学会誌』44巻、2011年、共著)	
② 大学教職員を対象とした栄養アセスメントに基づく給食経営管理実習の試み(『日本栄養士会雑誌』54巻、2011年、共著)	
③ Effects of cooking process with giner juice and kiwifruit juice on the collagen and the lipid contents of "Kakuni pork"(『日本調理科学会誌』 44巻 2011, 共著)	
④ 食事摂取基準に示された「美味しく楽しく食べることのできる食事」を理解させるための給食経営管理領域における試み(『日本栄養士会雑誌』 55巻 2012, 共著)	
⑤ Lipid Distribution and Rheological Properties of Creamy Custard Pudding Prepared with EggYolk and Milk Fat Cream(『日本調理科学会誌』 45巻 2012, 共著)	
[社会的活動]	

幼児教育学科 教授 幼児教育学修士

イ チ カワ カズ ヒコ
市川 和彦

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本キリスト教社会福祉学会、日本産業カウンセラー協会、日本社会福祉士会、日本自閉症スペクトラム学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 障がい児保育、障がい者福祉論、社会福祉援助技術論	
これまでの研究	
① 施設内虐待の発生機序と防止に関する研究	
② 強度行動障害に対する治療と援助技術に関する研究	
③ 社会福祉施設における援助者のメンタルヘルスに関する研究	
④ 社会福祉施設従事者のアンダー・マネジメントに関する研究	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 虐待防止ツールとしての事例検討とロールプレイ、ワークショップに関する研究	
② 施設内における援助者に対する他傷・暴力に関する研究	
③ 知的障害のある方の性的問題に関する研究	
④ 障害児者との「触れる関わり」「ダンスビック」の実践的研究	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 施設内虐待の防止と対策に関して	
② 施設内暴力(利用児者から援助者に対する)の防止と対策に関して	
③ 事例検討・ロールプレイの持ち方、進め方に関して	
④ 重度障がいのある方への非言語的関わり方に関して	
⑤ 知的障がい児者・児童の性的問題に関して	
キーワード: 施設内虐待、行動障害、怒り、障がい児、障がい者、触れる関わり	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 「施設内虐待～なぜ援助者が虐待に走るのか～」誠信書房, 2000.	
② 「続・施設内虐待～克服への新たなる挑戦～」誠信書房, 2002.	
③ 「虐待のない支援～知的障害の理解と関わり合い～」誠信書房, 2007.	
④ 「施設内暴力～利用者からの暴力への理解と対応」誠信書房, 2016.	

[論文]	
①	「施設内虐待の概念に関する研究～主に施設内体罰の定義と目的についての考察～」 和泉短期大学研究紀要, 2005.
②	「軽度知的障害者のワークショップの取り組みから～施設内虐待に対する子どもたちによるセルフアドボカシーの可能性～」, 日本子ども虐待防止学会, 2006.
③	「知的障害者に対する呼称のありかたに関する考察～ちゃん・くん呼びがなぜ不適切なのか～」 キリスト教社会福祉学研究, 2009.
④	「施設内における援助者の”からかい”についての一考察～対人援助の”誤った家族化”による影響～」 和泉短期大学研究紀要, 2010.
⑤	「施設内虐待の防止～虐待に走る援助者の心理過程と自己理解～」矯正協会『刑政』2010.
⑥	「障害者虐待事例にみる虐待防止法への提言～人間性への挑戦としての虐待防止法～」 現代書館『福祉労働』, 2010.
⑦	「保育者・支援者との”触れる関わり”が障がい児者に及ぼす影響～主に自閉症スペクトラム(ASD)における人間関係能力発達の視点から考える各アプローチの包括的理解～」会津大学短期大学部研究紀要第72号, 2015.
[社会的活動]	
①	知的障害者施設「横浜市松風学園」スーパーバイザー
②	知的障害者施設「福生学園」「福生第二学園」スーパーバイザー
③	会津若松市自立支援協議会権利啓発部門委員

幼児教育学科 教授 教育学修士

渡^{ワタ}辺^{ナベ} 一^{カズ}弘^{ヒロ}

○所属学会・協会 / 日本保育学会、幼児教育史学会、日本教育社会学会、日本教育学会、日本教科教育学会、中国四国教育学会、九州教育学会、岡山地方史研究会、別府史談会、大分プランゲ文庫の会、女性の日記から学ぶ会、教育の歴史社会学コロキウム

●専門分野とこれまでの研究

専門分野: 保育学、幼児教育学、教育社会学

これまでの研究

- ① 中等学歴から見た日本の地方エリート研究
- ② 戦前期における中等学校文化(校風)研究
- ③ 地域進学校の生徒のライフドキュメント研究
- ④ 地域における幼稚園・保育園の実践史研究
- ⑤ 幼稚園実習・保育所実習における学生の自己評価に関する研究
- ⑥ 短期大学における保育・教職実践演習カリキュラムの検討

●現在の研究テーマおよび概要

- ① 戦後の保育内容の変遷に関する研究
- ② 地域の幼稚園・保育所における設定保育に関する研究
- ③ 大分プランゲ文庫から見る、戦後の別府、大分
- ④ 後発旧制中学、高等女学校の学校文化に関する研究

●相談に応じられる分野・キーワード

- ① 地域における保育施設の歴史について(派遣講座リストのとおり)
- ② 地域における高校学歴の問題(派遣講座リストのとおり)
- ③ 男女共同参画社会に関する問題

キーワード: 地域、保育施設の歴史、学歴、学校文化(校風)、男女共同参画社会

●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)

[著書]

- ① 『新現代保育原理』(共著)、上野恭裕編、三晃書房、2007年、104-111頁。
- ② 『おもしろく簡潔に学ぶ保育内容総論』(共著)、上野恭裕編、保育出版社、2008年、28-29頁。
- ③ 『保育・教育 実践テキストシリーズ 教育原理—保育実践への教育学的アプローチ』(共著)、廣田照幸・塩崎美穂編、樹村房、2010年、107-120頁・141-153頁。
- ④ 『子どもと教師のための教育原理』(共著)、石田美清編、保育出版社、2010年、39-43頁。
- ⑤ 『子ども社会シリーズ』(全6巻)第1巻「子どもと家族」(共著)、監修者:住田正樹・武内清・永井聖二、学文社、2010年、96-110頁。
- ⑥ 『実践的保育原理』(共著)、上野恭裕編、三晃書房、2012年、155-161頁。
- ⑦ 『子どもの心によりそう保育原理』(共著)、鈴木昌世編、福村出版、2012年、71-82頁。
- ⑧ 『子どもの心によりそう保育内容総論』(共著)、鈴木昌世編、福村出版、2014年、7-22頁。

〔論文〕

- ①「中等教育学歴からみた日本の地方エリート研究－熊本の政治エリート、経済エリートの分析－」(単著)、『教育学研究紀要』第41巻 第1部 中国四国教育学会編、1996年、176-181頁。
- ②「中等教育学歴からみた日本の地方エリート研究－熊本の法曹エリート、行政エリートの分析－」(単著)、『教育学研究紀要』第42巻 第1部 中国四国教育学会編、1997年、190-195頁。
- ③「中等教育学歴からみた地方エリート研究－ライフ・ヒストリーを中心に－」(単著)、『九州教育学会研究紀要』第24巻、1998年、95-100頁。
- ④「中等教育学歴からみた日本の地方エリート研究－熊本の医療エリートの分析－」(単著)、『教育学研究紀要』第41巻 第1部 中国四国教育学会編、1998年、179-184頁。
- ⑤「戦前期における中等学校文化に関する研究－岡山県を事例にして－」(単著)、『教育学研究紀要』第43巻 第1部 中国四国教育学会編、1998年、226-231頁。
- ⑥「地域進学校の生徒のライフドキュメント研究－喫茶店の落書きノートの内容分析－」(単著)、『教育社会学研究年報』第5号 広島大学教育学部教育社会学研究室編、2002年、18-28頁。
- ⑦「旧制熊本中学の校風の確立－歴代校長の教育方針を中心に－」(単著)、『九州教育学会研究紀要』第29巻、2002年、203-210頁。
- ⑧「岡山県の旧制中学の校風－岡山一中と岡山二中を中心に－」(単著)、『岡山地方史研究』100号記念号 岡山地方史研究会編、2002年、148-159頁。
- ⑨「戦後日本の農村における生活改良普及員の活動－鹿児島県を事例にして－」(単著)、『教育学研究紀要』(CD-ROM版)第49巻 中国四国教育学会編、2004年、661-666頁。
- ⑩「表現的遊びの活動を通しての保育－八戸短期大学付属第二ののめ幼稚園の実践を中心に－」(単著)、『教育学研究紀要』(CD-ROM版)第52巻 中国四国教育学会編、2007年、420-425頁。
- ⑪「後発旧制中学の学校文化に関する研究－広島県呉市を事例にして－」(単著)、『八戸短期大学研究紀要』第29巻 八戸短期大学編、2007年、49-68頁。
- ⑫「家庭科教育成立前史に関する研究－高等女学校のカリキュラムと卒業生の回想を中心に－」(単著)、『八戸短期大学研究紀要』第31巻 八戸短期大学編、2009年、27-36頁。
- ⑬「幼稚園実習における学生の自己評価に関する研究－「摂理と輝石」の内容分析を中心に(Ⅱ)－」(単著)、『教育学研究紀要』(CD-ROM版)第55巻 中国四国教育学会編、2010年、344-349頁。
- ⑭「昭和期西日本の旧制中学における歴史授業の検討－学校史・校友会誌等の分析を通して－」(単著)、『八戸短期大学研究紀要』第32巻 八戸短期大学編、2010年、11-21頁。
- ⑮「保育所実習における学生の自己評価に関する研究－地方私立短期大学の事例を中心に－」(単著)、『別府大学短期大学部紀要』第30号 別府大学短期大学部編、2011年、85-92頁。
- ⑯「施設実習における学生の自己評価に関する研究－地方私立短期大学の事例を中心に－」(単著)、『別府大学短期大学部紀要』第31号 別府大学短期大学部編、2012年、103-110頁。
- ⑰「師範学校卒業生の履歴分析－広島県師範学校の事例を中心に－」(単著)、『教育学研究紀要』(CD-ROM版)第57巻 中国四国教育学会編、2012年、511-516頁。
- ⑱「西条小学校における家庭科学習指導の研究－戦後から昭和30年代にかけての教育実践を中心に－」(単著)、『別府大学短期大学部紀要』第32号 別府大学短期大学部編、2013年、82-90頁。
- ⑲「後発旧制中学の類型化への試みに関する研究－明治後期以降開校の旧制中学を中心に－」(単著)、『別府大学短期大学部紀要』第33号 別府大学短期大学部編、2014年、109-120頁。
- ⑳「保育・教職実践演習の検討－地方私立短期大学の事例を中心に－」(単著)、『教育学研究紀要』(CD-ROM版)第59巻 中国四国教育学会編、2014年、539-544頁。

〔社会的活動〕

- ① 広島大学文書館客員研究員(2008年1月－継続中)
- ② 会津若松市地域福祉計画等評価検証会議会長(2017年3月－継続中)
- ③ 会津若松市子ども・子育て会議委員(2015年8月－継続中)
- ④ 教育連携事業派遣講師、熊町・大野小学校4年生「私たちの生活と福祉」について(2015年4月24日)
- ⑤ 会津大学短期大学部公開講座講師「地域における保育施設の歴史－北東北地域の保育施設の形成を中心に－」(2015年10月3日)
- ⑥ 大分県別府市男女共同参画審議会公募委員、委嘱委員、副会長(2010年7月－2015年3月)
- ⑦ 大分県別府市男女共同参画センター運営検討委員会、運営委員会会長(2012年6月-2014年3月)
- ⑧ 青森県八戸市男女共同参画審議会公募委員、委嘱委員、副会長(2006年5月－2010年4月)
- ⑨ 平成21年度、夏期・冬期、教員免許状更新講習必修講習講師(2009年8月、2010年1月)
- ⑩ 平成20年度、青森県認可外保育施設・事業所内保育施設保育従事者研修会講師(2008年10月26日)

幼児教育学科 教授 教育学修士

カク ショウ ラン
郭 小 蘭

○所属学会・協会 / 日本保育学会会員、日本心理臨床学会会員、日本発達心理学会会員、日本臨床発達心理士会会員、福島県臨床心理士会会員

●専門分野とこれまでの研究	発達心理学・臨床心理学・保育学
専門分野: 発達心理学・臨床心理学・保育学	
これまでの研究	
① 就学前児をもつ中国の母親の信念—指導法に関する母親の信念、行動及び子どもの表象的思考力の関係	
② 父娘関係、父親像と娘からみた父親の魅力	
③ 日本と中国の大学生のストレスとその対処行動	
④ 中国の子育てと親の持つ価値的背景について	
⑤ 学校臨床におけるスクールカウンセラーの役割について	
⑥ 子育て支援の取り組みの実態について	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 保育の教材研究(遊具の現状と課題について)	
② 授業研究(学生の保育実践力の向上につながる授業の方法)	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 子育てに関する相談	
キーワード: 子どもに対する接し方	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 三神廣子・梶田正巳・中野靖彦編著 『新・こどもの心理』 2-4、3-4、4-3、5-1 単著 福村出版株式会社 1996. 54-58、85-88、110-114、130-133	
② 棚橋昌子・白石淑江編著『親と子のメンタルヘルス』 5-1、5-2 単著 中央法規出版株式会社 1997. 133-142、143-163	
③ 小嶋秀夫・河合優年編 『児童心理学』 第8章 単著 近畿大学豊岡短期大学発行 1991.73-78	
④ 岸井勇雄監修 上野恭裕編著 『おもしろく簡潔に学ぶ保育内容総論』 4-3 単著 保育出版社 2008. 59-62	
[論文]	
① 就学前児をもつ中国の母親の信念—指導法に関する母親の信念、行動及び子どもの表象的思考力の関係 単著 1991. 発達心理学研究第2巻、第2号、60-69	
② 父娘関係、父親像と娘からみた父親の魅力 共著 南山大学『アカデミア』人文・社会科学編 第61号 1995. 195-227	
③ 日本と中国の大学生のストレスとその対処行動 共著 東京学芸大学紀要、第一部門教育科学 第47集 1996. 7-15	
④ 中国の子育てと親の持つ価値的背景について - 99年度面接調査からの予備的分析 共著 平成10-12年度 科学研究費補助金 基盤研究(A)(2)(海外) 研究成果報告書 2001. 117-134	

- | |
|--|
| ⑤ 学校臨床におけるスクールカウンセラーの役割 - 女子中学生のリストカット事例からみた学校システムに対する支援について 共著 会津大学短期大学部研究年報 第63号 2006. 83-91 |
| ⑥ 子育て支援の取り組みの実態 - 会津地域の事例から 単著 『福島県における子育て・子育て支援に関する調査研究』報告書 社会福祉法人福島県社会福祉協議会 2008. 129-136 |
| ⑦ 不登校生徒をもつ母親の面接過程 - 接し方を巡る母親の葛藤 単著 会津大学短期大学部研究年報 第66号 2009 |
| ⑧ 不登校生徒を抱える母親への支援 - 第三者の視点に立ち、わが子の心理を理解することへのアプローチ 単著 会津大学短期大学部研究年報 第67号 2010 |
| ⑨ 学生の保育実践力を高めるゼミ研究の教学効果についての考察 - 幼児向け布絵本制作実践例 単著 会津大学短期大学部研究年報 第72号 2015 |
| ⑩ 布玩具魚つり遊びに見られる幼児の発達段階の違いと効果的な指導法について 単著 会津大学短期大学部研究紀要 第73号 2016 |
| ⑪ 幼児教育現場の教材から見た幼児の遊びの指導法 単著 会津大学短期大学部研究紀要 第73号 2016 |

[社会的活動]

- | |
|---|
| ① 会津学鳳中学校高等学校の学校評議員 (H19.4からH25.3) |
| ② 会津若松市男女共同参画審議会委員 (H17.5-H18.4). |
| ③ 会津若松市湊しらとり保育園指定管理者候補者選定委員会委員 (H28.7-) |

幼児教育学科 教授 芸術学修士

カワラ ダ ジュン
河原田 潤

○所属学会・協会 / 日本保育学会

●専門分野とこれまでの研究

専門分野: 幼児音楽、器楽合奏全般、オーケストラ・室内楽奏法(コントラバス)

これまでの研究

- ① 保育現場で必要とされている楽器の取り扱い方とその演奏法について
- ② 保育者に必要とされる音楽理論
- ③ 音楽を通じた子どもとの関わり方について

●現在の研究テーマおよび概要

- ① 基礎的・基本的な音楽理論と技術の習得について
保育者を目指す、「音楽」が苦手な学生に対して、いかに「音楽」に親しみ、楽しむことが出来るかを共に考え、興味や関心を持てるような指導の仕方に取り組んでいます。
- ② 保育現場で扱われる楽器を使った合奏について
楽器は「道具」であることを、子どものみならず保育者も知ることによって、楽器に対する正しい知識を身に付け、自分で出す音に新しい発見があったり感動する気持ちを持ってもらいたいと思っています。

●相談に応じられる分野・キーワード

- ① 幼児の音楽
- ② 保育者に必要とされる音楽理論
- ③ 室内楽・オーケストラの指導

キーワード: 音楽、音楽理論、合奏

●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)

[著書]

[論文]

- ① 幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察 —保育実習アンケートによる幼児音楽について— 常葉学園短期大学紀要 第38号 単著、2007、P.103-112
- ② 幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察2 —保育実習アンケートによる幼児音楽について— 常葉学園短期大学紀要 第39号 単著、2008、P.49-57
- ③ 保育現場で使用される楽器の基本的な取り扱い方と、子どもへの働きかけについて 常葉学園短期大学紀要 第41号 単著、2010、P.91-100
- ④ 保育士養成系に学ぶ学生のピアノ力の現状と、それに伴う問題と課題について考える —本学学生の実態を基にして— 常葉学園短期大学紀要 第43号 単著、2012、P.115-122
- ⑤ 保育士・幼稚園教諭養成系における「音楽理論」の必要性和授業展開についての一考察 常葉大学短期大学部紀要 第46号 単著、2015、P.129-138

[社会的活動]

- | |
|--|
| ① 全国保育士養成協議会関東ブロック実行委員として、全国保育士養成セミナー第49回研究大会(平成22年9月15～17日)実行委員(H.21.5.1-H.23.3.31) |
| ② 幼稚園教諭対象教員免許更新講習における、表現系音楽講師(常葉大学短期大学部主催 平成23年度～平成27年度) |
| ③ 職業音楽家(コントラバス)として、室内楽・プロオーケストラへのエキストラ出演等の演奏活動(現在も継続) |
| ④ 室内楽・オーケストラ・吹奏楽(パートを含む)の指導活動(現在も継続) |

幼児教育学科 准教授 修士(幼児教育学)

久保 美由紀

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本居住福祉学会、老人福祉問題研究会、医療福祉問題研究会、貧困研究会、公的扶助研究会、日本社会福祉士会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 地域福祉、高齢者福祉	
これまでの研究	
① 特別養護老人ホームの入所待機状態の解消に関する研究	
② 社会福祉サービスアクセス困難層の顕在化とその支援体制のあり方に関する研究	
③ 高齢期にある人びとの地域生活支援の方法に関する研究	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 中高年齢層の生活継続のための支援方法に関する研究 地域で生活する中高年齢層の生活リスクを軽減、回避し生活を継続できるように支える援助方法論の構築	
② 地域の福祉力向上のための拠点機能のあり方に関する研究 地域資源としての社会福祉施設の拠点化やその人材確保・育成	
③ 社会福祉サービスアクセス保障に関する研究 社会福祉サービスアクセスに関する現状把握とアクセス保障を可能とする援助方法論の構築	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 高齢者の地域生活支援の方法	
② 地域における福祉力の組織化の方法	
キーワード: 高齢者の生活支援、福祉計画、地域ケア、コミュニティ・ソーシャルワーク	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① [共著] 人権としての社会保障—人間の尊厳と住み続ける権利— 矢嶋里絵他編(法律文化者, 2013)	
② [共著] 地域福祉論—地域福祉の理論と方法— 精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会編(へるす出版, 2009)	
③ [共著] 新選・高齢者福祉論(一部改訂)、岡崎強・野口典子・水谷俊夫編(株みらい, 2008)	
[論文]	
① [単著] 生活援助サービス 月刊ゆたかなくらし No.400 高齢者福祉白書、全国老人福祉問題研究会、2016.	
② [共著] 過疎集落の生活実態にみる政策課題—珠洲市内三集落調査より— 金沢大学環日本海域環境研究センター 日本海域研究 第44号、2013	
③ [単著] イギリスにおける高齢者の自立・自律生活を支える実践に学ぶ—リーズ市の“Reablement Service”を中心に— 会津大学短期大学部 研究紀要 第70号、2013.	
④ [単著] 高齢者の生活継続を支える地域支援のあり方に関する一考察 会津大学短期大学部 研究紀要 第69号、2012.	
⑤ [単著] 配食サービス利用者調査からみた高齢者の地域生活支援の現状と課題 会津大学短期大学部 研究年報 第68号、2011.	
⑥ [単著] 生活援助サービス—配食サービス利用者調査の結果をもとに 月刊ゆたかなくらし No.350、全国老人福祉問題研究会、2011.	

⑦ [単著] 社会福祉サービス供給体制の現状と課題－介護保険制度を中心に－ 会津大学文化研究センター 研究年報 第16号、2010.
⑧ [単著] 配食サービス利用者の生活実態調査結果から読み取れる『老老介護』 月刊 ゆたかなぐらし No.335、全国老人福祉問題研究会、2010.
⑨ [単著] 小地域における高齢者支援の取り組み－イギリスでの取り組み事例から－ 会津大学短期大学部 研究年報 第66号、2009.
[調査報告書]
「生活支援相談員の活動状況に関するアンケート」結果(一次)報告書(2017)
[社会的活動]
① 福島県総合計画審議会委員
② 福島県生涯学習審議会委員
③ 大熊町社会福祉協議会中期ビジョン計画策定委員会委員
④ 会津若松市介護保険運営協議会委員

幼児教育学科 講師 修士(コミュニティ福祉学)

キ ムラ ジュン ヤ
木村 淳也

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本介護福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、
日本社会福祉士会、福島県スクールソーシャルワーカー協会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 社会福祉学	
これまでの研究	
①福祉施設における不適切な援助関係に関する研究	
②東日本大震災後の援助者支援に関する実践研究	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 援助者の支援に関する研究	
② 東日本大震災後の援助者支援に関する実践研究	
③ スクールソーシャルワークに関する実践研究	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 施設における援助者支援	
② 地域における援助者支援	
キーワード: 援助関係、ソーシャルワーク・スーパービジョン、連携、協働	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
①「ソーシャルキャピタルを活かした社会的孤立への支援」、ミネルヴァ書房、2017、共著.	
②「保育実践を深める相談援助・相談支援」、晃洋書房、2017、共著.	
③「演習 保育と障害のある子ども」、みらい、2017、共著.	
④「施設内暴力」、誠信書房、2016、共著.	
⑤「社会福祉士養成標準テキスト」、日総研、2016、共著.	
⑥「ソーシャルワーカーのジリツ」、生活書院、2015、共著.	
[論文]	
①「福島県における生活支援相談員に対するスーパービジョン実践と課題(第2報)」会津大学短期大学部研究紀要 第72号、2015、単書.	
②「グループ・スーパービジョンにおけるスーパーバイザーの役割と課題ー社会福祉協議会における職場内研修の実践からー」会津大学短期大学部研究紀要 第72号、2015、単書.	
③「小中学校を通じた不登校児の孤立と支援ー不登校のA君に対する適応指導教室、小学校、中学校との連携による専門的支援の事例からー」会津大学短期大学部幼児教育研究 第1号、2015、単書.	
[社会的活動]	

① 福島県 介護保険審査会 委員
② 福島県教育委員会 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー
③ 福島県教育委員会 生徒指導アドバイザー
④ 会津若松市社会福祉協議会 評議員
⑤ 本宮市教育委員会 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー

幼児教育学科 講師 修士(コミュニティ福祉学) 修士(公共政策)

鈴木 勲

○所属学会・協会 / 日本子ども虐待防止学会、日本教育学会、日本子ども環境学会

●専門分野とこれまでの研究
専門分野: 児童家庭福祉
これまでの研究
① 子ども虐待と支援に関する研究
② 児童相談所一時保護所研究
③ 子どもの暴力問題に関する研究
●現在の研究テーマおよび概要
① 児童相談所一時保護所の現状と課題に関する研究
② 児童養護施設退所児童のアフターケアに関する研究
③ 子どもの貧困と教育問題に関する研究
●相談に応じられる分野・キーワード
① 子ども虐待への対応
② 問題行動のある子どもへの対応
キーワード: 社会的養護、子ども虐待、一時保護所
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)
[著書]
① 『考え、実践する施設実習』 保育出版、分担執筆、2015
② 『シードブック・子ども家庭福祉』(第2版) 建帛社、分担執筆、2013
③ 『子ども白書2013年度版』 本の泉社、分担執筆、2013
④ 『子ども白書2012年度版』 草土文化、分担執筆、2012
⑤ 『児童福祉施設・児童相談所・学校 子どもの暴力対応実践マニュアル』 建帛社、分担執筆、2011
⑥ 『シードブック・子ども家庭福祉』 建帛社、分担執筆、2011
[論文]
① 一時保護所の子どもの暴力予防のためのアプローチモデルの構築(共著) 金剛出版、2011 日本子ども虐待防止学会学術雑誌・学術刊行物『子どもの虐待とネグレクト』第13巻第1号(通巻第31号)
[社会的活動]
① 財団法人山梨県青少年育成県民会議理事(平成16年3月迄)

② 山梨県地域留学生交流推進協議会委員(平成16年3月迄)

③ 群馬県児童養護施設協議会・アフタケア一検討委員会委員(平成26年3月)

幼児教育学科 講師 体育学修士

ワタ ナベ タク ヤ
渡部 琢也

○所属学会・協会 / 日本体育学会、日本体力医学会、日本教育医学会、東海体育学会、
日本運動生理学会、日本発育発達学会

●専門分野とこれまでの研究	
専門分野 : 発育発達学、運動生理学、トレーニング科学	
これまでの研究	
① 四足動物における歩行中の外乱に対する適応	
② ヒトにおける歩行中の外乱に対する適応	
③ 幼児期における身体組成と体力に関する研究	
④ 児童期における体力に関する研究	
⑤ 高齢期における体力に関する研究	
⑥ 大学競技スポーツにおける実践的トレーニング	
●現在の研究テーマおよび概要	
① 幼児期における体力に関する研究	
② 児童期における体力に関する研究	
③ 高齢期における体力に関する研究	
●相談に応じられる分野・キーワード	
① 児童と体力	
② 幼児と体力	
③ 高齢期における体力と運動について	
④ 競技スポーツにおけるトレーニングについて	
キーワード: 体力、体格・運動能力、幼児、児童、高齢者、競技スポーツ、発育発達	
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)	
[著書]	
① 「新運動生理学(上巻)歩行運動」真興交易株式会社医書出版部、2001.	
② 「21世紀の生活福祉・援助分析論」大学図書出版、2008.	
[論文]	
① 幼児における身体組成と運動能力の相関構図の加齢変化に関する検証,教育医学56,2011	
② 幼児の生活リズムと生活習慣に関する年次比較,子ども学研究論集4,2012	
③ 介護福祉職教育における介護予防運動指導員,名古屋経営短期大学紀要54,2013	
④ 体育科教育における体づくり運動の現状について,名古屋経営短期大学紀要55,2014	

⑤ 体育科教育における体づくり運動授業の質向上のための講習会の効果についての検討,子ども学研究論集 6,2014
⑥ Confirmation of motor performance Classified by Fatty-Slim Judgment derived From Regression Evaluation of Weight against Height in Preschool Children,The Korean Journal of Physical Education.53, 2014
⑦ 会津大学短期大学部社会福祉学科保育士養成課程在籍学生の幼稚園教諭免許の必要性と特例制度に関する調査,会津大学短期大学部研究紀要,第72号,2015
⑧ 体育科教育における体づくり運動への取り組みの認識と実施状況,愛知大学体育学論叢21,2015
⑨ 2015年度会津大学短期大学部運動技術履修者の体力,会津大学短期大学部研究紀要 第73号,2016
⑩ 大学生の身体的経年変化から判断される東日本大震災の影響の有無,教育医学,61,2016
⑪ 小学校における「体づくり運動」の状況:教員の意識調査を通して、子ども学研究論集 (8) 5-20、2016
⑫ Establishment of Physical Growth Evaluations for Schoolchildren in Disaster Environments -Construction of body fatness tracking evaluation chart-, The International Council for Health, Physical Education, Recreation, Sport and Dance 8 41-46、2016
⑬ 2016年度会津大学短期大学部運動技術履修者の体力、会津大学短期大学部研究紀要 第74号、2017
⑭ 高齢者における体組成測定の有効性について、会津大学短期大学部研究紀要 第74号、2017
[その他]
① 小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動(遊び)、愛知県教育委員会、2011
② 子どもの体力向上運動プログラム 多様な動きを作る運動(遊び)(小学校低学年・中学年 全36種目)DVD、愛知県教育委員会、2011
③ 報告書Ⅰ 愛知県における幼児の体格・運動能力に関する年代変化(1969年～2009年調査)、子どもの発育発達研究会、2011
④ 報告書Ⅱ 愛知県における幼児の生活リズム・生活行動・遊び環境の実態(2009年調査)、子どもの発育発達研究会、2011
⑤ 小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動(遊び)「活用事例集」、愛知県教育委員会、2013
⑥ 活用事例集を活かした「指導事例」、愛知県教育委員会、2013
⑦ 学校体育における運動遊び、子どもと発育発達Vol11 No.2、2013
⑧ 平成25年度子どもの体力向上運動プログラム「小学校高学年向け」、愛知県教育委員会、2014
⑨ 健康づくりに取り組むために、ゆう&ゆう、2014
⑩ 運動が苦手な子への教育および支援のポイント、健康教室2014年12月号、2014
⑪ 会津の伝承遊び、子どもと発育発達Vol12、2015
[社会的活動]
① 新城市教育委員会 文部科学省「子どもの体力向上実践事業」実行委員会委員(平成19年3月まで)
② 豊橋市生涯スポーツ推進市民会議委員(平成26年3月まで)
③ 新城市教育委員会 文部科学省「運動部活動活性化推進事業」調査研究協力者会議委員(平成22年3月まで)
④ 愛知県教育委員会 体育スポーツ実践講座 講師(平成26年3月まで)
⑤ 愛知県教育委員会 子どもの体力向上支援委員会委員(平成26年3月まで)
⑥ 愛知県教育委員会 体育スポーツ実践講座 講師 「体づくり運動」(講義、実技)(平成26年3月まで)
⑦ 愛知県教育委員会 地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業に係る子どもの体力向上支援委員会委員(平成26年3月まで)

幼児教育学科 講師 教育学修士

ハ ヤマ リョウ ソウ
葉山 亮三

○所属学会・協会 / 日本保育学会、日本美術教育学会、日本基礎造形学会、ものづくり教

●専門分野とこれまでの研究
専門分野:造形教育
これまでの研究
① こどもを対象とした造形教育の教材研究
② 造形活動における意欲喚起の方法
③ 作品制作による表現、及び素材研究
●現在の研究テーマおよび概要
① リピーテーションを用いた造形教育の指導法
② パターンを利用した作品制作
●相談に応じられる分野・キーワード
① 図画工作、美術科の教育教材
② 絵画、造形表現のワークショップ
キーワード:造形教育、ワークショップ
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)
[著書]
①「図画工作・基礎造形－美術教育の内容－」 建帛社 2016 共著
[論文]
① 造形教育における意欲の喚起・リズム 愛知教育大学大学院修士論文 2007
② 感性・創造の授業実践報告－様々な素材体験が培う感じて考える力－ 共著 愛知教育大学紀要 2015
③ 教育実習に向けた図画工作科研究－素材、技法、幼児への理解－ 会津大学短期大学部 幼児教育研究 第2号 2016
④ 幼児・児童の構成表現とその指導法 会津大学短期大学部研究紀要 第74号 2016
[社会的活動]

幼児教育学科 講師 修士(教育学)

サクラ イ
櫻井
ナオ キ
直輝

○所属学会・協会 / 日本教育行政学会, 日本教育政策学会, 日本教師教育学会, 関西教育行政学会, 日本教育学会

●専門分野とこれまでの研究
専門分野: 教育行政, 教育財政, 学校統廃合, 教師教育, 国際学力調査
これまでの研究
① 学校統廃合政策に関する研究
② 地方教育行政の規模に関する研究(教育事務所の統廃合など)
③ 教職員人事に関する研究
④ アメリカ教師教育政策に関する研究
⑤ OECD-PISA調査に関する研究
⑥ 基礎自治体の教育予算編成と財政制度に関する研究
●現在の研究テーマおよび概要(上記, ①～⑤に対応しています)
① 学校統廃合政策の効果研究: 例えば, 一般にコスト削減が可能であるとされる学校統廃合が, どの程度コスト削減が可能なのか, その効果は恒久的なのかどうか, また社会的費用を勘案した場合, 学校統廃合はどのような意味をもつのかなど
② 教育事務所統廃合による教職員人事行政, 学校指導行政の変容について(共同研究)
③ 文部科学省国立教育政策研究所と共同で, 県費負担教職員の人事異動実態を調査しています。
④ アメリカ・ウィスコンシン州を中心に, 全米の教育改革動向と州における教師教育の変容について(共同研究)
⑤ 国立教育政策研究所国際共同研究室と共同で, OECD-PISA調査の結果分析を行っています(共同研究)
⑥ 科研費「地方自治体の教育予算編成における財政トランスファーの実態と効果に関する調査研究」(16H07392)
●相談に応じられる分野・キーワード
① 地方教育行財政に関すること
② 学校統廃合政策に関すること
③ PISA調査に関すること
キーワード: 教育行政, 教育財政, 教育委員会, 学校統廃合, 国際学力調査
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)
[著書]
① 国立教育政策研究所訳『PISA2012年調査 評価の枠組み——OECD生徒の学習到達度調査』経済協力開発機構(OECD)編著 明石書店 2016年8月 ISBN:4750343811
② 国立教育政策研究所訳『21世紀のICT学習環境——生徒・コンピュータ・学習を結び付ける (OECD生徒の学習到達度調査(PISA))』経済協力開発機構(OECD) 編著 明石書店 2016年8月 ISBN:4750343803

③国立教育政策研究所監訳『PISA2015年調査 評価の枠組み OECD生徒の学習到達度調査』 経済協力開発機構(OECD) 編著 明石書店 2016年11月 ISBN 9784750344331
④国立教育政策研究所編『生きるための知識と技能6 OECD生徒の学習到達度調査(PISA)2015年調査国際結果報告書』明石書店 2016年12月 ISBN 9784750344409
[論文]
①「学校統廃合政策の財政効果」『日本教育行政学会年報』(38) 99-115頁, 2012年(査読あり)
②「昭和町村合併期における中央政府の公立小中学校統廃合政策の分析」『日本教育政策学会年報』(21) 178-190頁, 2014年(査読あり)
③「近年の教育行財政研究の研究手法と今後の展開」『教育行財政研究』(42), 関西教育行政学会, 63-72頁, 2015年(共著・査読なし)
④「福島県下の幼稚園における学級規模の現況と課題」『幼児教育研究』(1), 会津大学短期大学部幼児教育学科, 77-86頁, 2015年(研究ノート)
⑤「教員の人事異動の範囲から見る『地域』」「地域とともにある学校」の推進に向けた教育行政の在り方に関する調査研究」, 国立教育政策研究所, 171-223頁, 2015年(共著・査読なし)
[社会的活動]
① 平塚市立旭陵中学校 外部評価委員(2011年)
② 春日部市小中一貫教育及び学校再編検討会議 委員(2012-2013年)
③ 国立教育政策研究所 フェロー
④ 香川県の公立高校において, 国際学力調査等に関する講演を実施(2015年)

幼児教育学科 講師 博士(言語学)

イカラシ ケイ タ
五十嵐 啓太

○所属学会・協会 / 日本英語学会、日本言語学会、日本英文学会、英語語法文法学会、日本語用論学会、日本語文法学会、筑波英語学会、秋田英語英文学会、新潟県ことばの会

●専門分野とこれまでの研究
専門分野: 言語学
これまでの研究
① 意味論・語用論
② 日英語比較研究
●現在の研究テーマおよび概要
① 日本語・英語の語法研究: 日英語の様々な表現の意味や使用法(大人だけでなく子どもが使うことばも含む)について研究をしています。
② 形態論と語用論のインターフェース研究: 少し変わった表現(例えば「まつりつくば」など)が生み出される仕組みを研究しています。
③ 方言研究: 新潟県長岡方言の記述研究をしています。
●相談に応じられる分野・キーワード
① 語学学習
② 子どもの言語獲得
キーワード: 英語、文法、言語獲得
●主な業績(著書・論文・特許・社会的活動等情報)
[著書]
① 五十嵐啓太「Mirativityを表すマーカーとしての「の」」『時制ならびにその関連領域と認知のメカニズム』和田尚明・渡邊淳也(編), TAME研究会, pp.181-213, (2015年12月)。
[論文]
① 五十嵐啓太「長岡方言における終助詞『て』と『いや』について」『ことばとくらし』, 新潟県ことばの会, 28号, pp.31-36, (2016年10月)。
② Sakamoto, Akihiko and Keita Ikarashi, "Japanese Particle-Stranding as Nonrestrictive Relativization," <i>Proceedings of the 18th Seoul International Conference on Generative Grammar</i> , the Korean Generative Grammar Circle, pp.496-514, (2016年8月)。
③ 本多正敏・五十嵐啓太「To think that構文の機能について」『英語語法文法研究』, 英語語法文法学会, 22号, pp.135-150, (2015年12月)。
④ 五十嵐啓太「幼児の語彙習得—動詞用法のオノマトペ習得研究における問題点—」『幼児教育研究』, 会津大学短期大学部社会福祉学科, 1号, pp.70-76 (2015年11月)。
⑤ Ikarashi, Keita. "The Sentence-Final Particle <i>No</i> and Mirativity," <i>Tsukuba English Studies</i> , 筑波英語学会, 34号, pp.79-98, (2015年10月)。
⑥ Sakamoto, Akihiko and Keita Ikarashi "Universal Grammar and the Mechanism of Structure Indication: A Case Study of the <i>Nani-o X-o</i> Construction," <i>Tsukuba English Studies</i> , 筑波英語学会, 34号, pp.33-54, (2015年10月)。
⑦ 五十嵐啓太「会話場面における英語の主語省略と対人機能」『日本英文学会東北支部第69回大会 Proceedings』, 日本英文学会, pp.130-131, (2015年9月)。
⑧ Ikarashi, Keita. <i>A Functional Approach to English Constructions Related to Evidentiality</i> , 博士論文, 筑波大学, (2015年6月)。

⑨ Sakamoto, Akihiko and Keita Ikarashi. “Wh-Movement as a Scope Determination Operation in Japanese,” <i>MIT Working Papers in Linguistics</i> , MIT, 73号, pp.143-154, (2014年12月).
⑩ Ikarashi, Keita. “The Distributional Property of the Japanese Sentence-Final Particle <i>Ka</i> ,” <i>Tsukuba English Studies</i> , 筑波英語学会, 33号, pp. 63-82, (2014年10月).
⑪ Ikarashi, Keita. “The <i>It Is That</i> -Construction and Abductive Inference,” <i>English Linguistics</i> , 日本英語学会, 31号1巻, pp.161-172, (2014年6月).
⑫ 五十嵐啓太「take it that構文に関わる推論過程とその生起条件」『英語語法文法研究』, 英語語法文法学会, 20号, pp.104-117, (2013年12月).
⑬ Ikarashi, Keita. “The Performative Clause <i>I Tell You</i> , Interpersonal Relationship, and Informational Superiority,” <i>Tsukuba English Studies</i> , 筑波英語学会, 32号, pp.111-126, (2013年10月).
⑭ Ikarashi, Keita. “The Discourse Function of the <i>It Is That</i> -Construction: From the Perspectives of Inference, Specification, and Contrast,” 『日本英語学会大会研究発表論文集 (JELS)』, 日本英語学会, 30号, pp.64-70, (2013年2月).
⑮ 五十嵐啓太「結果を表すit is that構文が認可される仕組み」『秋田英語英文学』, 秋田英語英文学会, 54号, pp. 23-30, (2012年12月).
⑯ Ikarashi, Keita. “The Discourse Function of the <i>It Is That</i> -Construction: From the Perspective of Reasoning Process behind Discourse Flow,” <i>Tsukuba English Studies</i> , 筑波英語学会, 31号, pp. 65-84, (2012年9月).
⑰ 五十嵐啓太「アブダクションに基づいた『の(だ)』文に関する日英比較」『日本英語学会大会研究発表論文集 (JELS)』, 日本英語学会, 29号, pp.52-58, (2012年2月).
[社会的活動]

会津大学短期大学部地域活性化センター

〒965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田 1 - 1

Tel : 0242-37-2300

Fax : 0242-37-2412

URL : <http://www.jc.u-aizu.ac.jp/>

E-mail : chiiki@jc.u-aizu.ac.jp